



GO GLOBAL

東大から世界へ

東京大学 留学・国際交流ガイドブック 2015

海外留学・海外インターンシップ・国際ボランティア



THE UNIVERSITY OF TOKYO

Local × Global = ∞

世界を知ること

2014年も、語学力も国際経験も十人十色の東大生が、一步を踏み出し、海外へ飛び出しました。

それはある人にとっては小さな一步であり、またある人にとっては大きな一步だったことでしょう。

世界を知り、また世界を知ることによって日本を意識し、

世界の友人からの刺激と友情を胸に日本に戻った東大生たち。

彼らは、これまでの環境で身につけた能力に、海外での経験というスパイスを加え、
一味も二味も違う学生に成長し、決意を新たにそれぞれの場所で活動を始めています。

みなさんも、小さくて大きな、世界への第一歩を踏み出してみませんか。





CONTENTS

東大だからこそできる多様な国際体験を

東京大学理事・副学長 古谷 研



巻頭特集「いまなぜ留学か、数値からみる」…… 04

留学・国際交流プログラムの種類 …… 08

1. 全学交換留学 …… 10

概要/募集サイクル/(国際本部担当)応募状況

2. 東京大学交換留学協定校一覧(全学・部局間) …… 12

全学・部局別/地域・国別

3. 3ヶ月未満の留学(大学を通じて応募するもの) …… 18

概要/募集サイクル/プログラム一覧

・教養学部前期課程 主題科目「国際研修」 …… 20

・各学部・研究科などで実施されるプログラムの例 …… 21

4. その他の留学(個人応募での留学など) …… 22

5. 留学体験談 …… 23

6. 留学の計画と準備 …… 28

学部での全学交換留学 留学時期のパターン(実例) …… 29

留学等における学籍・単位認定など …… 30

外国の大学において取得した単位の取扱いに関する規則(学部学生) …… 30

外国の大学において取得した単位の各学部・研究科の取扱い例 …… 31

留学にかかる費用 …… 32

英語能力試験 …… 32

・コラム: 東大の学期が4ターム制に変わりました! …… 28

7. 学内でできる国際体験 …… 33

8. 留学と就職活動 …… 34

9. 大学院留学 …… 35

10. 海外留学等奨学金 …… 36

奨学金の種類/例/探し方/主な海外留学等奨学金一覧

・特集コラム:

「卒業生・社会が東大生のGo Globalを支援しています」…… 38

11. 海外インターンシップ・ボランティア …… 40

概要/体験談/主な実施団体

12. 体験活動プログラム …… 43

13. 安全と危機管理 …… 44

14. 東京大学の留学・国際交流関係部署 …… 45

15. よくある質問 …… 46

16. 留学・国際交流に関する情報収集 …… 47

あらゆる分野でグローバル化が進んでいる今日、国際化は東京大学の最優先課題の一つです。2014年度には文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」の採択を受け、グローバルキャンパスモデルの構築を目指す取組みがスタートしました。こうした中、東京大学が有する世界有力大学との戦略的パートナーシップを活用した教育プログラムを拡充し、学生に海外留学を含む国際的な学習・研究経験を積んでもらうことを推進しています。

学生の皆さんは、東京大学からの奨学金などの支援を受けた上で、交換留学により約半年～1年の間、東京大学の協定校に留学できるほか、夏休みなどを利用して数週間、海外大学が実施する質の高いサマープログラムに参加し、専門科目や語学を学ぶこともできます。また、海外の大学の留学プログラムに直接応募する、学外の団体のサービスを利用するなどの方法で個人留学もできますし、留学に加えて海外インターンシップや国際ボランティアの機会もあります。東京大学は、皆さんがこのような国際交流への一歩を踏み出せるよう、留学プログラムや奨学金を充実させるとともに、海外の大学で取得した単位を東京大学で認める制度や4ターム制の導入による長期休みの確保など、留学しやすい環境の整備に力を入れています。

さらに、東京大学のキャンパスには現在約3,000人の留学生在が学んでいます。皆さんにはこれらの留学生と積極的に交流していただきたいと思います。国内外におけるバックグラウンドが異なる仲間との出会いは、皆さんの学生生活を豊かなものにすることでしょう。

未来を見通しにくい不確実性の下、社会の安定的な発展と成熟をいかに実現していくかということが、時代の課題です。学生の皆さんが、東大だからこそできる多様な国際経験を通じ、国際社会に貢献する知的リーダーへと成長し、知や社会のフロントを切り拓いていってくれることを期待しています。

巻頭特集

いまなぜ留学か、数値から見る

東大が正式に全学交換留学制度を開始し、全学レベルで学生の海外派遣の取り組みに力を入れ始めたのが、2011年。それから、一般的な交換留学だけでなく、全学の学生が参加できるサマープログラムなど2週間程度から海外を体験できるプログラムの開発を始め、学生の留学の選択肢を徐々に拡充してきました。ここ数年の間で、東大における「留学」を取り巻く状況は大きく変化してきました。ここでは、東大の「留学」にまつわるDATA・アンケートを特集します。みなさんには何が見えてきますか？

◎DATAから見えてくる東大の留学

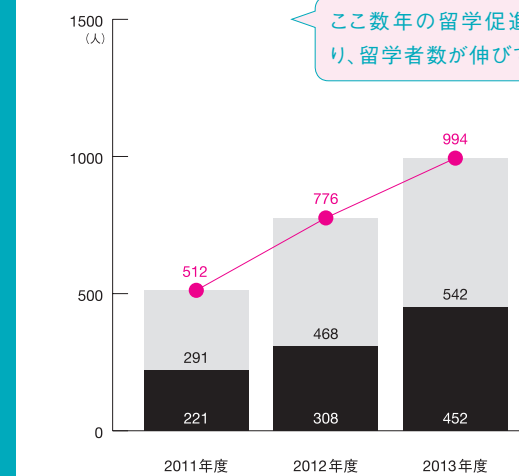
東大には大まかに学部・研究科で実施する留学プログラムと国際本部が実施するプログラムがあります。また各学生が休学制度などを利用し、個人的に留学するケースもあります。以下では、東大全体と国際本部プログラムのDATAをご紹介します。

1. 東京大学全体の様子

交換留学協定校：40ヶ国・地域 190大学・機関

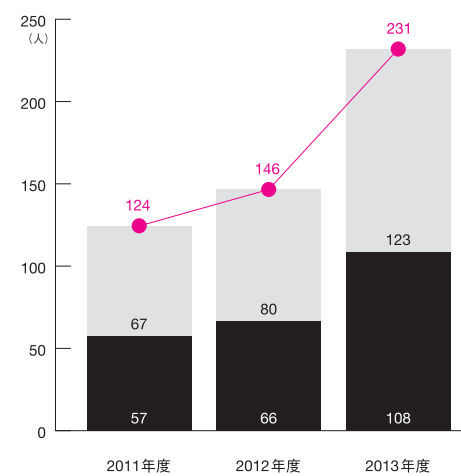
本学の交換留学協定校の詳細はP12～で確認してください。

海外留学者数（日本人学生）



■ 学部学生 ■ 大学院学生 ● 合計 「日本学生支援機構（JASSO）日本人学生留学状況調査」に基づく

交換留学による海外大学在籍者数



■ 学部学生 ■ 大学院学生 ● 合計 「東京大学授業等不徴収調べ」に基づく

留学先 トップ5

2011年度		2012年度		2013年度	
1位 アメリカ	172	1位 アメリカ	195	1位 アメリカ	331
2位 フランス	65	2位 英国	118	2位 英国	71
3位 英国	44	3位 ドイツ	70	3位 中国／フランス	69
4位 中国	29	4位 フランス	59	4位 ドイツ	56
5位 ドイツ	28	5位 スイス	51	5位 タイ	47

留学先の人気はやはりアメリカですが、アジアにも目が向けられました。

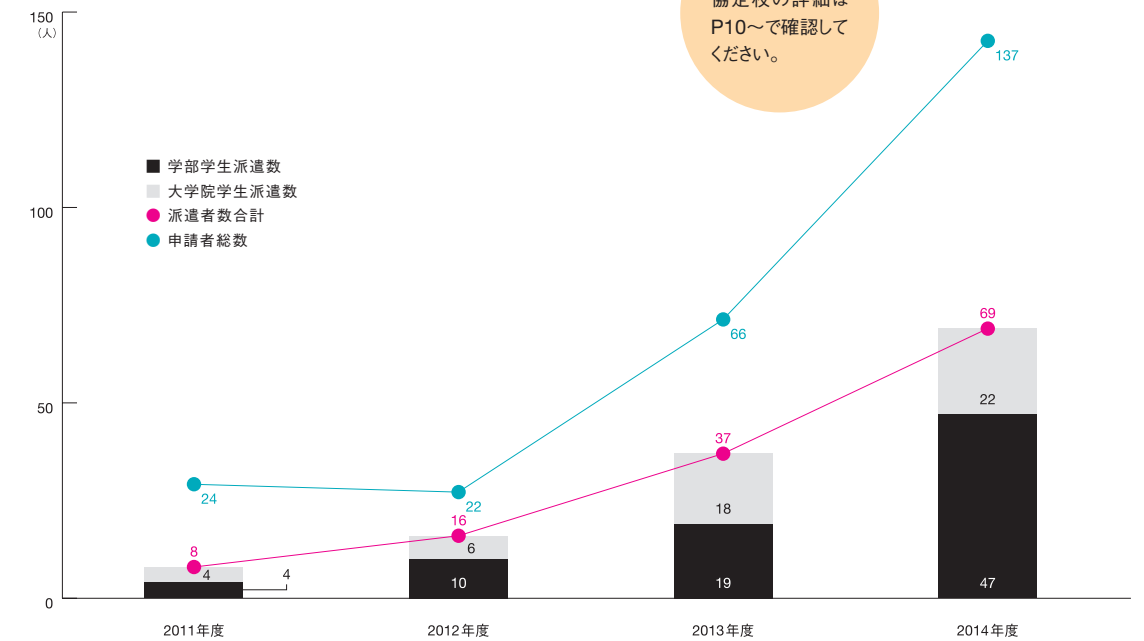
「日本学生支援機構（JASSO）日本人学生留学状況調査」に基づく

2. 国際本部担当プログラムの様子

全学の学生が誰でも参加できる交換留学先を急速に増やしています。

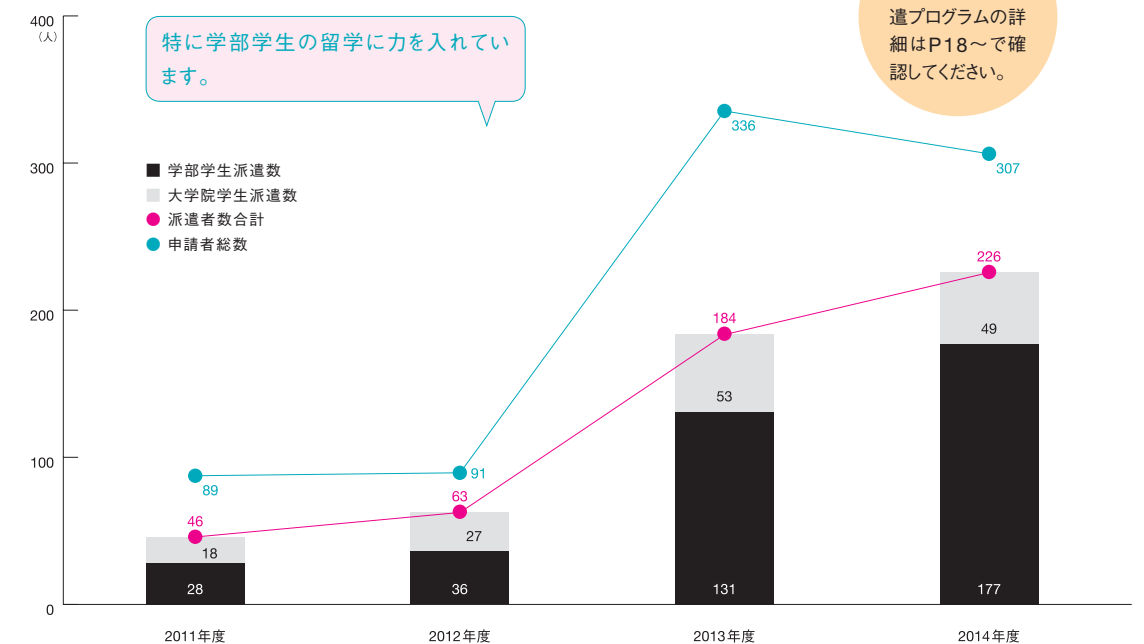
全学交換留学協定校数（国際本部担当）：2011年4校 → 2015年（2月現在）53校

全学交換留学制度による学生派遣状況



全学交換留学協定校の詳細はP10～で確認してください。

3ヶ月未満短期派遣プログラムによる学生派遣状況



特に学部学生の留学に力を入れています。

国際本部担当3ヶ月未満短期派遣プログラムの詳細はP18～で確認してください。

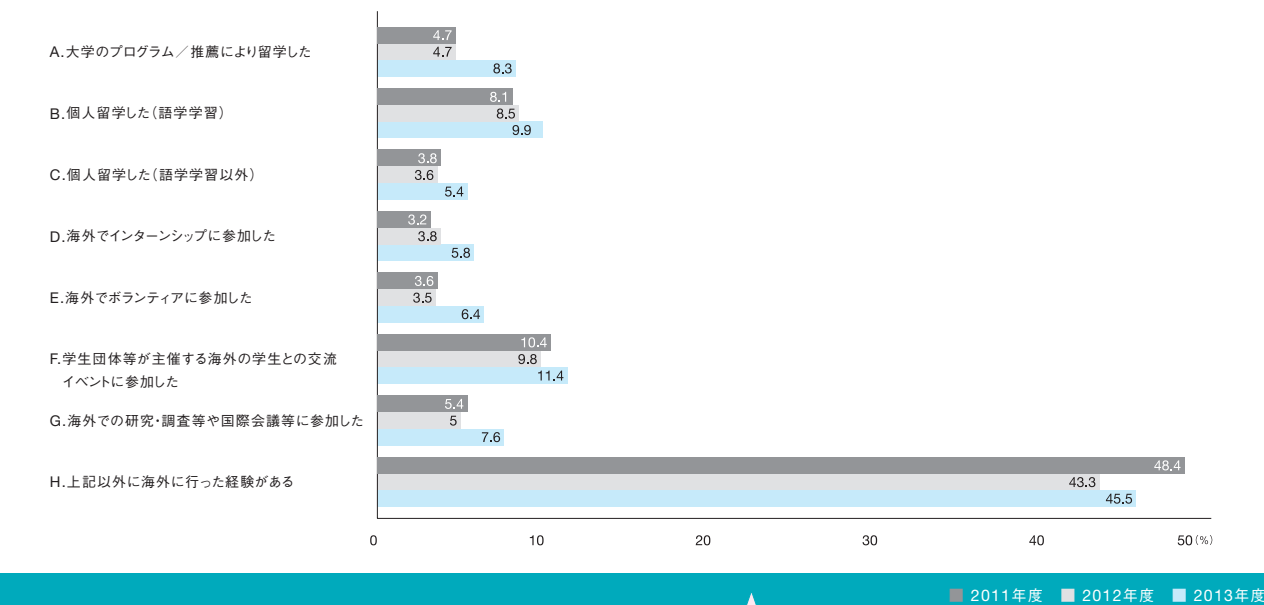
◎アンケートから見える東大生の留学・国際交流

東京大学の大学総合教育研究センターでは、教育・研究環境の向上を目的とし、毎年3月その年の卒業生を対象としてアンケート調査「大学教育の達成度調査」を実施しています。その中から留学・国際交流に関係する調査項目の一部をピックアップしました。みなさんの先輩方が4年間をどう過ごし、何を感じていたか参考にしてみてください。

※平成26年3月に卒業した学部学生3,133名を対象とし2,537名からの回答を得た「大学教育の達成度調査」に基づくデータです。

「大学のプログラム／推薦による留学や個人留学」は大幅に増加

Q21 在学時の国際交流経験について、それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

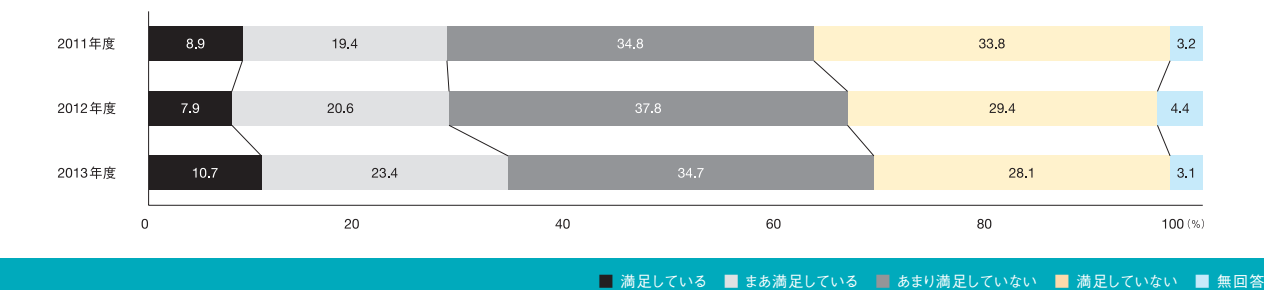


留学をはじめとする国際体験に身を投じ満足感を得る学生が徐々に増えてきました。

「国際体験」の満足度は増加傾向

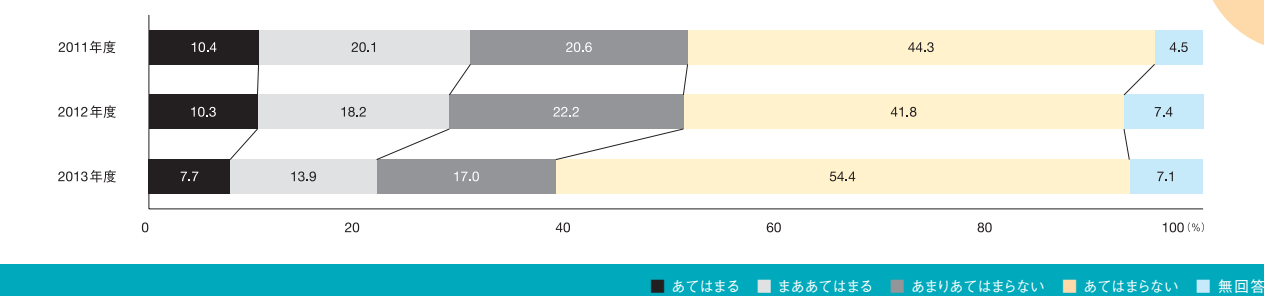
Q15 あなたの大学生活を通じた満足度についてお聞きます。

「国際体験」



「大学院／就職試験が留学の妨げとなった」者は大幅減少

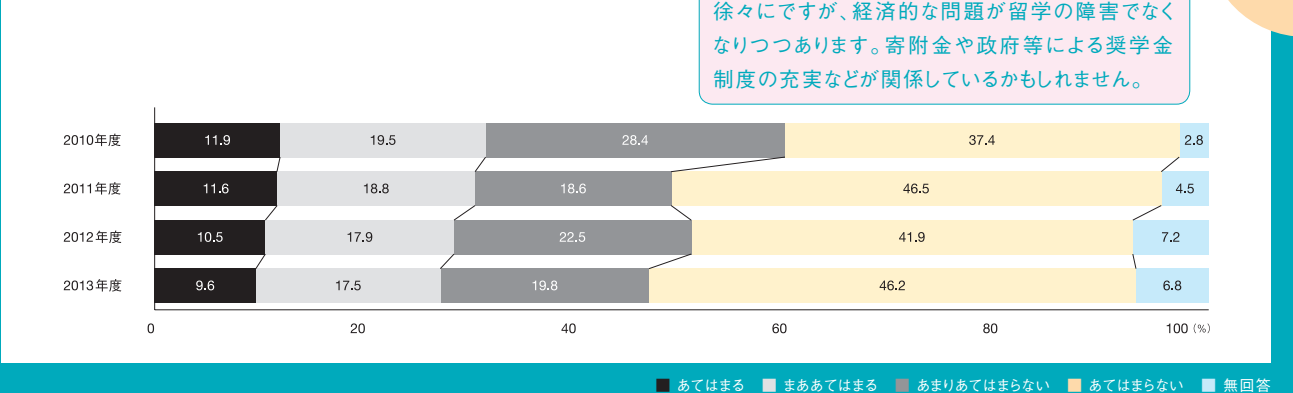
●大学院／就職試験が留学の妨げとなった



留学と就職の詳細はP34で確認してください。

「経済的な問題で留学をあきらめた」者も減少傾向

●経済的な問題で留学をあきらめた

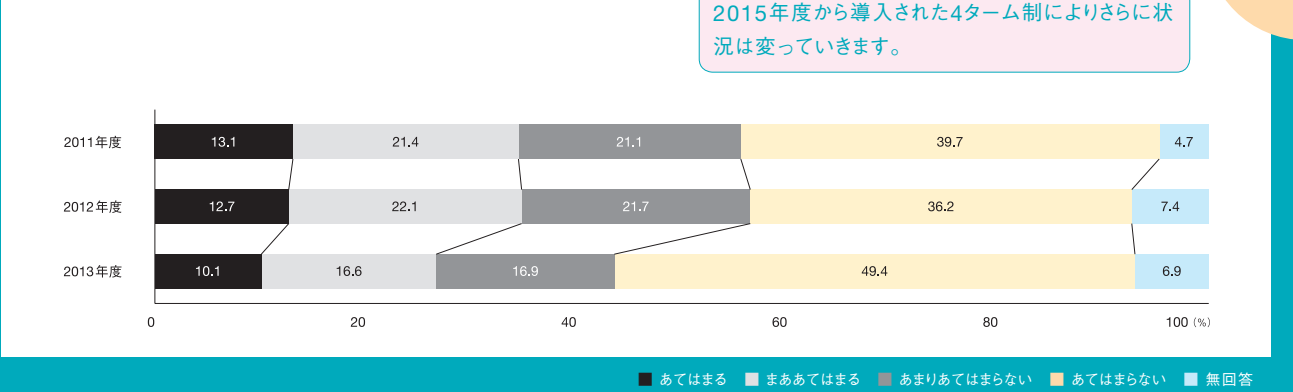


徐々にですが、経済的な問題が留学の障害でなくなりつつあります。寄附金や政府等による奨学金制度の充実などが関係しているかもしれません。

奨学金制度の詳細はP36～で確認してください。

「大学の年間スケジュールが留学の妨げになった」者も減少傾向

●大学の年間スケジュールが留学の妨げとなった



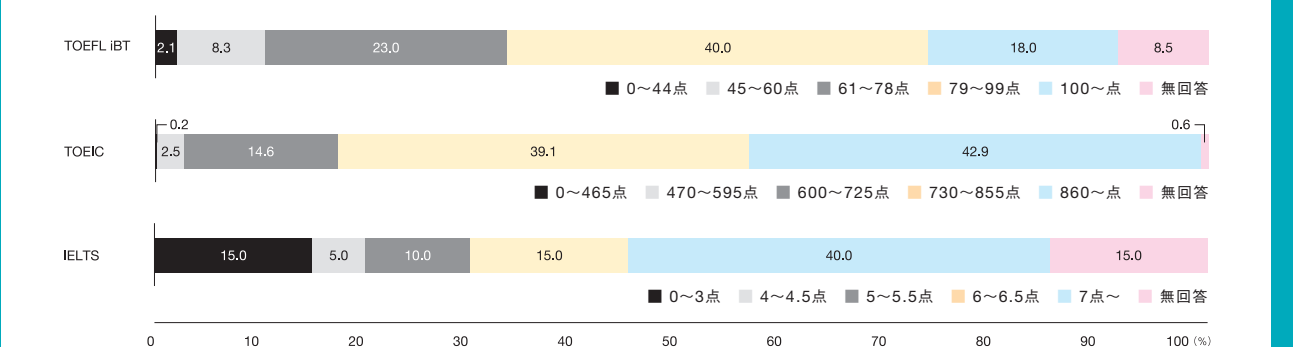
2015年度から導入された4ターム制によりさらに状況は変わっていきます。

4ターム制の詳細はP28で確認してください。

TOEFL iBTは「79から99点」、TOEICは「860点以上」、IELTSは「7点以上」が最も高い割合

さすが東大生、なかなかのスコアです。英語圏への留学にはTOEFL, IELTSのスコア取得は重要なステップです。

英語能力試験の詳細はP32で確認してください。



留学・国際交流プログラムの種類

留学・国際交流プログラムには、以下のように様々なものがあり、各自の目的、希望する留学先、期間、予算などによって、様々な形で国際 体験を積むことができます。最適な方法を検討してください。

大 学 公 募	1海外留学	
	1学期～1年のプログラム	
	●全学交換留学 東京大学が学生交流覚書を締結している海外の大学(協定校)に1学期～1年の間留学するプログラムです。東京大学の授業料を納めることで、留学先での授業料は不要となります。大学全体で実施する交換留学を「全学交換留学」と呼びます。 ●部局間の交換留学 前述の交換留学を、大学全体ではなく、特定の学部・研究科(以下「部局」と呼びます。)でのみ行うのが部局間の交換留学です。教養学部後期課程のAIKOM(Abroad in Komaba)、各学部・研究科の交換留学など、東京大学では、各部局の特色をいかした部局間の交換留学も多数行われています。 ●カルフォルニア大学バークレー校・デービス校派遣プログラム カルフォルニア大学2校との連携により、学生の派遣を行う留学プログラムです。ただし、交換留学ではないため、留学先の大学に授業料等を支払う必要があります。参加期間中は東京大学を休学することも可能です。	P10 P12 P22
	数週間～3ヶ月未満のプログラム	P18
	●海外大学既存の短期留学プログラム 海外の有力大学が夏に開催する3ヶ月未満の既存のプログラムから、良質な約50のプログラムを選別して、東京大学からの奨学金付きで参加する学生を募集します。(奨学金の受給には一定の条件を満たす必要があります。)世界トップレベルの学生と少人数で受講する集中的プログラム、専門科目を学ぶ講義型プログラム、語学学習中心のプログラムまで、様々なものがあります。 ○IARU Global Summer Program ○東大生海外体験プロジェクト(卒業生有志の学部生短期留学支援プログラム) ○大学院生短期留学支援プログラム ●作り込み型プログラム&カスタマイズ型プログラム 海外大学と連携して東大生のためにつくったプログラム(夏と冬)に、東京大学からの奨学金付きで参加する学生を募集します。(奨学金の受給には一定の条件を満たす必要があります。) ○作り込み型プログラム 東京大学の教員が海外パートナー校と連携し実施します。講義やフィールドワーク、現地学生とのグループワークや交流などを組み合わせたプログラムです。 ○カスタマイズ型プログラム 海外留学に興味があるものの語学力に不安がある学生向けに、海外パートナー校に東大生向けのプログラムのカスタマイズを依頼して実施します。パートナー大学教員の講義や語学サポートを組み合わせたプログラムです。	P22
個 人 応 募	1学期～1年のプログラム	P22
	●海外大学のVisiting Studentプログラム ●学外の団体や民間奨学金の留学プログラム 海外の大学では、Visiting Studentなどの身分で他大学の学生を1学期～1年間受け入れる大学もあります。また、費用の全額や一部が支給される民間の奨学団体やその他学外の団体による留学プログラムもあります。参加期間中、東京大学を休学することも可能です。	P22
	数週間～3ヶ月未満のプログラム	
	●世界有力大学の短期留学プログラム 世界中の大学が、他大学の学生も履修可能な夏季集中講義や語学研修などのプログラムを実施します。中でも夏には多くのサマープログラムが開かれます。このようなプログラムに個人で応募し、参加することも可能です。	

2

海外インターンシップ・ボランティア

大学公募

個人応募

- 体験活動プログラム(海外実施分)
東京大学では、次世代を担う学生を「よりタフに、よりグローバルに」育成するという教育目標を掲げ、学部学生の皆さんを対象にさまざまな体験活動の機会を提供しています。
- IARUサステイナブルキャンパス交換学生
- 香港大学Learn, Live and Intern in China (LLIC)プログラム

- イアエステ海外インターンシップ
- CIEE海外ボランティア・インターンシップ
- JICAボランティア
- NICE国際ワークキャンプ
- その他、企業・団体などが公募するもの

3

その他の国際交流

大学公募

個人応募

- 体験活動プログラム(海外実施分)(前述)
- 学外団体が実施する海外研修や学生会議など
費用の全額や一部を主催者が負担する短期間の海外研修や学生会議なども毎年数件実施されます。少ない自己負担で国際体験ができるチャンスです。

- その他、個人で応募する各種プログラム
東京大学に案内のあったプログラムをウェブサイトやSNSで紹介しています。費用の全額や一部を主催者が負担するものもありますので、こまめに情報をチェックしましょう。

4

卒業後の大学院留学

東京大学では現在、主に在学中の留学をサポートしています。卒業後の海外の大学院への進学については、様々な形で情報提供などを行っています。

大学公募のプログラムの学内募集要項によく出てくる「部局」って？

大学公募のプログラムのほとんどは、皆さんが所属している学部や研究科を通して申請することになります。学部や研究科等のことを「部局」と呼びます。学内募集要項にも度々出てくる言葉ですので、覚えておきましょう!

1. 全学交換留学

交換留学のメリット

- ① **東京大学の協定校への留学だから安心**
東京大学の協定校は評価の高い教育機関です。事前に多くの情報が得られ、現地でのサポート体制も充実しています。
- ② **留学先の協定校では授業料の支払いが不要**
留学先の授業料が不要になる代わりに、留学期間中の身分は「休学」ではなく「留学」となり、東京大学の授業料は納める必要があります。(大学院学生の場合、その活動の実態により「留学」又は「研究指導の委託」の手続きをとることになります。)
- ③ **協定校では交換留学生として優遇される**
協定校の交換留学生という特別な立場で留学するので、宿舍を優先的に確保してもらえるなど、特段の配慮をもらえるケースが多くなっています。
- ④ **協定校で取得した単位を東京大学の単位として認定できる可能性がある**
認定の基準は、部局により異なるため、所属部局や修得した科目によっては認定されない場合もありますので、留学時の所属部局の担当部署に事前に相談する必要があります。(P30参照)
- ⑤ **留学期間が卒業に必要な在学期間としてカウントされる**
留学期間は東京大学卒業のために必要な在学期間に算入することができますので、場合によっては、留学しても4年で学部を卒業することも可能です。(P30参照)

留学時期

- 1学期間あるいは1年間(留学先の協定校の学年暦(Academic Year)に基づく)
- 海外の大学は一般的に、1学期目:秋学期(8-10月開始、12-2月終了)、2学期目:春学期(1-2月開始、4-6月終了)の2学期制のところが多くなっています(例外あり)。例えば、2015年の秋学期(1学期目)～2016年の春学期(2学期目)という海外大学の1学年(Academic Year)を2015-2016年(AY2015-2016)と呼びます。
- 1年間の留学を希望の場合は、原則として秋学期(8-10月開始)からの1年間となります。

主な資格・条件(一例)

- 留学期間を通じて東京大学の正規課程に在学する者(留学期間内に東京大学を卒業・修了する者、留学期間内に東京大学の学部から大学院に進学する者は対象外)
- 協定校が定める交換留学生の資格・条件を有すること。(語学能力・分野など)

応募方法

募集要項を熟読の上、所属する部局の担当部署に必要な書類(主な書類:申請書・推薦書・語学力の証明書など)を提出

※英語能力の証明書としては、受験日から2年以内のTOEFL iBTまたはIELTS(アカデミック・モジュール)のみ受け付けます。(英国の大学への留学を希望する場合はIELTSのみ受付可)

選考方法

学内選考

各部局から推薦された学生について、第一次選考(書面審査)、最終選考(面接審査)により東京大学本部での学内選考を行います。最終選考は、第一次選考を通過した学生のみを対象として行われます。

協定校での審査(書面審査)

学内選考を通過した学生は協定校が定める申請書類を改めて作成し、その書類をもって東京大学が留学先の協定校へ推薦し、協定校での審査が行われます。協定校での審査を通過すると、留学決定となります。

募集時期

① 7～10月頃

→翌年の秋季(8月～10月頃留学開始)・翌々年の春季(1月～4月頃留学開始)分を募集

①・12月～1月頃(追加募集)

→秋季(8月～10月頃留学開始)・翌年の春季(1月～4月頃留学開始)分を募集

※①の募集で大きく枠が余った場合のみ募集

② 4月～6月頃

翌年の春季(1月～4月留学開始)分を募集

※前年度の①と①・の募集で余った派遣枠、及び②の募集までに新たに加わった協定校の募集

全学交換留学(国際本部担当)応募状況

(2015年3月現在)

		2014-2015年 期 (1回目募集)						2014-2015年 期 (1回目追加募集)						2014-2015年 期 (2回目募集・春期留学分)						2015-2016年 期 (1回目募集)							
国・地域	協定校	申請者数			学内 内定 者数	派遣者数		申請者数			学内 内定 者数	派遣者数		申請者数			学内 内定 者数	派遣者数		申請者数			学内 内定 者数	派遣者数			
		第 一 希 望	第 二 希 望	第 三 希 望		学 部	大 学 院	第 一 希 望	第 二 希 望	第 三 希 望		学 部	大 学 院	第 一 希 望	第 二 希 望	第 三 希 望		学 部	大 学 院	第 一 希 望	第 二 希 望	第 三 希 望		学 部	大 学 院		
台湾	国立交通大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
台湾	国立台湾大学	3	2	1	4	2	1	1	0	1	1	0	1	募集なし						0	2	2	0	0			
中国	上海交通大学	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	未定
中国	清華大学	2	3	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	3	0	2	未定
中国	南開大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国	北京大学	2	0	2	3	2	1	2	0	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4	未定	
香港	香港大学	3	2	3	3	2	1	0	2	0	1	1	0	募集なし						1	2	2	2	未定			
韓国	高麗大学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0
韓国	ソウル大学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	0	0	1	0	1	2	0	0	2	未定			
韓国	浦項工科大学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
韓国	延世大学校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
シンガポール	シンガポール国立大学	7	6	3	3	3	0	募集なし						募集なし						4	5	1	3	未定			
ブラジル	サンパウロ大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チリ	チリ大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	未定	
チリ	チリ・カトリック大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	3	未定	
カナダ	トロント大学	15	22	4	2	2	0	募集なし						募集なし						10	13	5	3	未定			
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	5	12	11	5	3	1	募集なし						募集なし						7	5	8	5	未定			
カナダ	マギル大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	0	1	0	0	0	4	4	1	3	未定			
アメリカ	イェール大学	0	1	1	1	0	0	募集なし						募集なし						4	0	0	4	未定			
アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	4	5	4	6	未定	
アメリカ	プリンストン大学(学部)	37	1	0	3	2	0	募集なし						募集なし						23	0	1	1	未定			
アメリカ	プリンストン大学(大学院)	8	0	0	3	0	1	募集なし						募集なし						5	3	0	2	未定			
オーストラリア	アデレード大学	0	2	0	1	0	1	3	1	0	3	2	1	募集なし						0	1	3	0	0			
オーストラリア	オーストラリア国立大学	4	3	2	6	3	0	募集なし						3	0	1	3	1	0	3	5	5	4	未定			
オーストラリア	クィーンズランド大学	1	2	5	3	2	0	募集なし						1	2	1	2	2	0	1	3	5	1	未定			
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	0	2	1	2	1	0	2	0	1	2	2	0	募集なし						2	1	2	2	未定			
オーストラリア	メルボルン大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	7	3	6	6	未定	
オーストラリア	モナシュ大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	4	0	2	未定	
デンマーク	コペンハーゲン大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	2	0	1	0	1	5	3	1	5	未定			
フィンランド	ヘルシンキ大学	2	2	2	3	2	1	2	2	0	1	1	0	募集なし						4	5	1	5	未定			
フランス	エコール・ポリテクニーク	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フランス	EHESS(社会科学高等研究院)	1	0	0	1	0	1	2	0	0	2	0	2	募集なし						1	0	0	1	未定			
フランス	ストラスブール大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	2	0	0	2	未定	
フランス	パリ政治学院(シアンスポ)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3	4	2	3	未定	
ドイツ	ケルン大学	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ドイツ	ベルリン自由大学	0	1	0	0	0	0	5	0	0	2	1	1	募集なし						0	0	0	0	0			
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ=マクシミリアン大学	1	1	0	2	2	0	募集なし						募集なし						2	0	0	2	未定			
オランダ	フローニンゲン大学	2	0	1	2	0	1	1	0	0	1	0	0	募集なし						0	2	0	0	0			
ロシア	サンクトペテルブルク大学	2	0	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	未定	
スウェーデン	ウプサラ大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	2	1	0	0	
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	1	2	3	3	3	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	3	0	1	未定			
スウェーデン	ストックホルム大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	1	2	3	1	未定	
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ(ETH Zurich)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	3	0	0	3	0	2	6	2	0	5	未定			
英国	サウサンプトン大学	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0	0	0	0	0	0	3	3	1	1	未定			
英国	シェフィールド大学	8	4	2	3	2	1	募集なし						募集なし						10	3	0	4	未定			
合計		104	68	42	57	34	12	20	7	4	17	10	5	13	5	3	11	3	5	128	90	57	89	未定			

※学内内定者=学内選考通過者 ※派遣者=実際に留学した者

2. 東京大学交換留学協定校一覧

「全学・部局別」

※2015年2月現在、交換留学を実施するため、東京大学が学生交流覚書を締結している協定校を掲載している。

ただし、覚書の更新や取扱いの検討等により調整中につき掲載されていない協定校があることや掲載されていても当該年度に交換留学を実施していない場合もあるため注意すること。

※上限枠欄に記載されている数は最大枠であり、実際の募集枠は各公募の際の協定校との調整により決まる。従って、実際の募集枠とは異なるので注意すること。

※(*)は全学学生交流覚書の上限枠を表す。

※担当部局ごとに取扱いが異なるため、詳細は担当部局に確認すること。

国際本部担当(全学交換留学)

国・地域	協定校	対象	上限枠
台湾	国立交通大学	学部／院	5
台湾	国立台湾大学	学部／院	20
中国	上海交通大学	学部／院	6
中国	清華大学	学部／院	10
中国	南開大学	学部／院	5
中国	北京大学	学部／院	12
香港	香港大学	学部／院	6
韓国	高麗大学	学部／院	6
韓国	ソウル大学	学部／院	6
韓国	浦項工科大学	学部／院	4
韓国	延世大学	学部／院	5
シンガポール	シンガポール国立大学	学部	6
タイ	チュラロンコン大学	学部／院	6
ブラジル	サンパウロ大学	学部／院	6
チリ	チリ大学	学部／院	2
チリ	チリ・カトリック大学	学部／院	6
カナダ	トロント大学	学部／院	6
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	学部／院	10
カナダ	マギル大学	学部	6
アメリカ	イエール大学Fox International Fellowship Program	院	若干名
アメリカ	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	学部	10
アメリカ	スワースモアカレッジ	学部	6
アメリカ	プリンストン大学	学部／院	学部:6 院:4
オーストラリア	アデレード大学	学部／院	6
オーストラリア	オーストラリア国立大学	学部	10
オーストラリア	クィーンズランド大学	学部／院	6
オーストラリア	ニューサウスウェールズ大学	学部／院	6
オーストラリア	メルボルン大学	学部／院	10
オーストラリア	モナシュ大学	学部／院	6
デンマーク	コペンハーゲン大学	学部／院	10
フィンランド	ヘルシンキ大学	学部／院	6
フランス	エコール・ポリテクニーク	学部／院	6
フランス	EHESS (社会科学高等研究院)	院	3
フランス	ストラスブール大学	学部／院	6
フランス	パリ政治学院(SciencesPo.)	学部／院	6

国・地域	協定校	対象	上限枠
ドイツ	ケルン大学	学部／院	4
ドイツ	ベルリン自由大学	学部／院	4
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクスミリアン大学	学部／院	6
アイルランド	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	学部／院	6
オランダ	フローニンゲン大学	学部／院	4
オランダ	ライデン大学	学部／院	6
ロシア	サンクトペテルブルク大学	学部／院	4
スウェーデン	ウプサラ大学	学部／院	6
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	学部／院	14
スウェーデン	ストックホルム大学	学部／院	4
スウェーデン	ルンド大学	学部／院	8
スイス	ジュネーヴ大学	学部／院	10
スイス	スイス連邦工科大学チューリッヒ	学部／院	20
英国	サウサンプトン大学	学部	6
英国	シェフィールド大学	学部／院	10
英国	ダラム大学	学部／院	5
英国	ロンドン大学東洋アフリカ学院	学部／院	6
英国	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	学部／院	6

各部局で担当するもの

国・地域	協定校	対象	上限枠
法学政治学研究科・法学部			
中国	北京大学法学院	院	1
中国	北京大学国際関係学院	学部/院	2
韓国	ソウル大学校法科大学・法学専門大学院	院	1
アメリカ	ハーバード・ロースクール ※受入のみ、派遣なし	院	2
医学系研究科・医学部			
台湾	国立台湾大学医学部	学部	2
台湾	台北医学大学医学部	学部	2
アメリカ	ジョンズホプキンス大学医学部	学部/院	2
アメリカ	ペンシルバニア大学医学部	学部/院	3
アメリカ	ミシガン大学医学部	学部/院	3
アメリカ	コーネル大学医学部	院	3
ドイツ	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクスミリアン大学医学部	学部	2
スウェーデン	イエテボリ大学	学部/院	3

国・地域	協定校	対象	上限枠
工学系研究科・工学部			
中国	北京航空航天大学電子情報工程学院航空科学与工程学院 ※新領域と担当	学部/院	1
中国	浙江大学	学部/院	5*
中国	西安交通大学	学部/院	5
中国	大連理工大学	学部/院	5
中国	同済大学院 ※新領域と担当	学部/院	5
香港	香港理工大学	学部/院	2.5
インドネシア	インドネシア大学公衆衛生学部[UEHAS]	学部/院	1.5
韓国	韓国科学技術院工科大学/生命科学技術大学(KAIST)	院	5
韓国	高麗大学工学部	学部/院	2
韓国	ソウル大学校工科大学	学部/院	5
シンガポール	ナンヤン工科大学工学部	学部/院	3
シンガポール・中国	シンガポール国立大学設計・環境学部 同済大学 建築・都市計画学院 清華大学 建築学院 ※修士のみ対象 ※新領域と担当	院	4
タイ	アジア工科大学院	院	5*
タイ	チュラロンコン大学工学部[UEHAS]	学部/院	5
タイ	タマサート大学国際工学部(SIIT)	学部/院	5
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校理科大学	学部/院	3
トルコ	中東工科大学工学部	学部/院	5
トルコ	イスタンブール工科大学理工学部	学部/院	2
オーストラリア	南オーストラリア大学情報科学技術工学環境学部	院	2
オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学	学部/院	2
ニュージーランド	カンタベリー大学工学部	学部/院	2
オーストリア	ウィーン工科大学	院	5
オーストリア	グラーツ工科大学	学部/院	5
デンマーク	デンマーク工科大学	学部/院	3
フィンランド	アールト大学(旧ヘルシンキ工科大学)	学部/院	2
フランス	ピエール・エ・マリー・キュリー大学(パリ第6大学)工学部	学部/院	2
フランス	エコール・セントラル・パリ	学部/院	5
フランス	エコール・デ・ミンド・ナント(Ecole des Mines de Nantes)	学部/院	2
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校	学部/院	5
フランス	エコール・ミン・パリ	学部/院	5
フランス	エコール・デ・ボン・パリテク	学部/院	3
フランス	航空宇宙高等学院(ISAE)	学部/院	3
フランス	国立民間航空大学校(ENAC)	学部/院	1
フランス	エコール・セントラル・リヨン	学部/院	3
ドイツ	シュツットガルト大学	学部/院	5*
ドイツ	カールスルーエ工科大学	学部/院	5
ドイツ	ミュンヘン工科大学	学部/院	5
ドイツ	ダルムシュタット工科大学	学部/院	2
ドイツ	フリードリヒ・アレクサンダー大学エアランゲン・ニュルンベルグ工学部	学部/院	3
イタリア	トリノ工科大学 ※情報理工と担当	学部/院	5
イタリア	ミラノ工科大学	学部/院	3
オランダ	デルフト工科大学機械・海洋・マテリアル工学部	学部/院	3
オランダ	トエンテ大学	学部/院	1

国・地域	協定校	対象	上限枠
ノルウェー	ノルウェー工科大学自然科学大学	学部/院	2
スペイン	マドリッド工科大学建築学部	学部/院	2
スペイン	バレンシア工科大学	学部/院	2
スウェーデン	チャルマーズ工科大学	学部/院	5
スウェーデン	ルレオー工科大学 ※修士のみ対象	院	5
スウェーデン	リンシェーピング大学理工学部 ※情報理工と担当	学部/院	2
スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	学部/院	2.5
スイス	スイス連邦工科大学ロザンヌ(EPFL)	学部/院	3
スイス	チューリッヒ大学理学部・経済学部 ※情報理工と担当	院	5
EU	“ミュンヘン工科大学、パリ・ラヴィレット建築大学、サンリュック大学、リスボン工科大学、シントルーカス大学”(AUSMIP) ※修士のみ対象 ※新領域と担当	院	10
その他	“シントルーカス大学建築及び都市計画学部、フランス国立パリ建築大学ラピレット校、リスボン工科大学建築学部、ミュンヘン工科大学建築学部 Building Realization& Informatics講座、ソフィア建築・土木・測地学大学、ソウル大学校工科大学建築学科・建築工学科、成均館大学工学部建築工学科・u-Cityデザイン工学科、メルボルン大学建築・設計・計画学部、オランダ大学創造芸術産業研究所建築・都市計画学部”(AUSMIP+) ※博士のみ対象 ※新領域と担当	院	EU側5校とAsia-Pacific側8校との間で4年間で35名
人文社会系研究科・文学部			
中国	山東大学儒学高等研究院・韓国研究中心	学部/院	1
中国	北京大学歴史学系 ※総合文化と担当	院	1
香港	香港中文大学文学院	学部/院	5
インド	デリー大学	院	1*
韓国	ソウル大学校人文大学	学部/院	2
韓国	釜山大学校人文大学	学部/院	2
イラン	テヘラン大学	院	5*
フランス	エコール・ノルマル・スーペリエール	院	1*
フランス	エコール・ノルマル・スーペリエール(リヨン校)	院	1
ドイツ	ベルリン自由大学(歴史文化学部、他) ※総合文化と担当	学部/院	5
イタリア	ピサ高等師範学校	院	2*
イタリア	フィレンツェ大学	院	3*
英国	マンチェスター大学人文学部	学部	若干名
理学系研究科・理学部			
韓国	ソウル大学校自然科学大学	院	5
農学生命科学研究科・農学部			
台湾	国立台湾海洋大学	院	3
台湾	中興大学獣医学院	院	3
台湾	台北医学大学公衆衛生栄養学部	学部/院	2
バングラデシュ	チッタゴン大学	学部/院	3
中国	四川農業大学	学部/院	3
中国	中国農業大学	学部/院	2
中国	東北林業大学	院	2
中国	東北農業大学	院	2
中国	南京農業大学	学部/院	3
中国	南京林業大学	院	2
中国	北京林業大学	院	2

次ページへ続く

国・地域	協定校	対象	上限枠
中国	天津農学院	院	2
中国	西南大学	学部/院	5
中国	中国科学院大学	学部/院	5
インド	タミルナードゥ農業大学	学部/院	5
インドネシア	バジャジャラン大学	学部/院	3*
インドネシア	ガジャマダ大学	学部/院	2
インドネシア	ボゴール農科大学	学部/院	3
インドネシア	ムラワルマン大学	院	3
インドネシア	ランブン大学農学部	学部/院	3
韓国	ソウル大学校農業生命科学大学	学部/院	3
韓国	釜慶大学校水産科学大学	学部/院	3
韓国	釜慶大学校環境海洋大学	学部/院	3
ラオス	ラオス国立大学計画策定・国際協力局	学部/院	3
モンゴル	モンゴル国立農業大学	学部/院	3
スリランカ	ルフナ大学	学部/院	3
タイ	カセサート大学獣医学部・農学部・林学部	院	2
タイ	コンケン大学農学部	院	3
ベトナム	ハノイ農科大学	院	3
ニュージーランド	マッセイ大学	院	3
フィンランド	アールト大学(旧:ヘルシンキ工科大学)	院	2
フランス	アグロパリテック(旧:パリーグリニョン国立農学院)	院	5
ドイツ	カールスルーエ工科大学	院	5
ポーランド	クラクフ農科大学	院	2
ポーランド	ワミヤ・マズリー大学	学部/院	2
スウェーデン	スウェーデン農科大学	院	3
英国	エジンバラ大学獣医校	院	3
経済学研究科・経済学部			
フランス	HEC経営大学院(HEC Paris)	学部/院	7
ドイツ	フランクフルト大学経済経営学部	学部	3
スウェーデン	ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス	学部/院	2
英国	マンチェスター大学人文学部	学部	2
英国	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリ ティカル・サイエンス ※博士課程のみ対象	院	2
総合文化研究科・教養学部			
中国	南京大学国際合作交流処 ※AIKOM	学部	5
中国	復旦大学外事処 ※AIKOM	学部	5
中国	北京大学国際合作部 ※AIKOM	学部	5
インドネシア	ガジャマダ大学 ※AIKOM	学部	5
マレーシア	マラヤ大学 ※AIKOM	学部	5
フィリピン	フィリピン大学 ※AIKOM	学部	5
シンガポール	シンガポール国立大学人文社会科学部 ※AIKOM	学部	2
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校付属人文社会科学 大学 ※AIKOM	学部	5
チリ	チリ カトリック大学 ※AIKOM	学部	5
アメリカ	スウェースモア大学 ※AIKOM	学部	5
アメリカ	ミシガン大学教養学部 ※AIKOM	学部	2
アメリカ	ワシントン大学教養学部 ※AIKOM	学部	2
アメリカ	ジョンスホプキンス大学クリーガー教養学部 ※AIKOM	学部	2

国・地域	協定校	対象	上限枠
オーストラリア	シドニー大学(人文社会科学部、他) ※AIKOM	学部	5
ニュージーランド	オークランド大学 ※AIKOM	学部	2
ニュージーランド	オタゴ大学 ※AIKOM	学部	5
フランス	グルノーブル アルプ大学 ※AIKOM	学部	2
アイルランド	トリニティカレッジ ダブリン大学 人文・人間科 学・社会科学部 ※AIKOM	学部	2
イタリア	ローマ大学 ラ・サビエンツァ 東洋研究学部 ※AIKOM	学部	1
スイス	ジュネーヴ大学 ※AIKOM	学部	2
英国	ウォリック大学 ※AIKOM	学部	2
台湾	国立政治大学歴史学系	院	2
台湾	国立政治大学台湾史研究科	院	2
中国	華東師範大学思勉人文高等学院	院	2
中国	北京大学歴史学系 ※人文社会系と担当	院	1
韓国	韓国外国語大学校東洋語大学・日本語大学	学部/院	2
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校付属人文社会科学 大学	学部/院	5
アメリカ	ニューヨーク大学大学院総合文化研究科	院	5
フランス	パリ第7・デイドロ大学	学部/院	5*
フランス	パリ第8大学	学部/院	5*
ドイツ	ベルリン・フンボルト大学	学部/院	2
ドイツ	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学第 一哲学部	学部/院	5
ドイツ	ベルリン自由大学(歴史文化学部、他) ※人文社会系と担当	学部/院	5
ロシア	ロシア国立人文大学	学部/院	1*
教育学研究科・教育学部			
スウェーデン	ストックホルム大学教育学部	学部/院	2
薬学系研究科・薬学部			
中国	瀋陽薬科大学	院	3
アメリカ	テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター	院	5*
ドイツ	ボン大学リサーチ・トレーニンググループ1873	院	3
スウェーデン	イエテボリ大学S.A.アカデミー	院	2
数理学研究科			
フランス	エコール・ノルマル・スーペリユールリヨン数 学科	院	5
新領域創成科学研究科			
中国	同済大学院 ※工学系と担当	院	5
中国	北京航空航天大学電子情報工程学院航空科 学与工程学院 ※工学系と担当	院	2
シンガポール・ 中国	シンガポール国立大学設計・環境学部 同済大学 建築・都市計画学院 清華大学 建築学院 ※修士のみ ※工学系と担当	院	4
韓国	韓国科学技術院(KAIST)工学研究科	院	5
タイ	カセサート大学理学部	院	3
ブラジル	カンピナス大学	院	5
ナイジェリア	イバダン大学	院	2
南アフリカ共 和国	ケープタウン大学工学・構築建築部	院	2
オーストラリア	ロイヤルメルボルン工科大学	院	3
オーストリア	ウィーン工科大学	院	2
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校	院	3

国・地域	協定校	対象	上限枠
フランス	エコール・ノルマル・スーペリユールリヨン	院	2
フランス	エコール・セントラル・ドゥ・ナント校	院	3
フランス	ジャンモネ大学	院	3
ドイツ	ヴュルツブルグ大学生命科学研究科	院	5
イタリア	ローマ大学 ラ・サビエンツァ 工学部	院	2
英国	インペリアルカレッジロンドン工学研究科化学工 学専攻	院	5
EU	* ミュンヘン工科大学、パリ・ラヴィレット建築大 学、サンリュック大学、リスボン工科大学、シント ルーカス大学”(AUSMIP) ※修士のみ対象 ※工学系と担当	院	10
その他	*シントルーカス大学建築及び都市計画学部、フ ランス国立パリ建築大学ラビレット校、リスボン 工科大学建築学部、ミュンヘン工科大学建築学 部Building Realization & Informatics講 座、ソフィア建築・土木・測地学大学、ソウル大 学工科大学建築学科・建築工学科、成均館大 学工学部建築工学科・u-Cityデザイン工学科、 メルボルン大学建築・設計・計画学部、オークラン ド大学創造芸術産業研究所建築・都市計画学 部”(AUSMIP+) ※博士のみ対象 ※工学系と担当	院	EU側 5校と Asia- Pacific 側8校 との間 で4年 間で 35名
その他	国連大学大学院サステイナビリティと平和研 究所	院	若干名
情報理工学系研究科			
オーストリア	ウィーン工科大学(VUT)	院	2
デンマーク	デンマーク工科大学(DTU)	院	3
フィンランド	アールト大学(旧ヘルシンキ工科大学)	院	3
フランス	エコール・スーペリユール EA (ESIEA)	院	5
フランス	エコール・セントラル・パリ	院	5
フランス	エコール・デ・ミン・ド・ナント(École des Mines de Nantes)	院	5
フランス	エコール・ノルマル・スーペリユール・カシャン (ENSC :カシャン高等師範学校)	院	2
フランス	フランス国立応用科学院リヨン校 (INSA Lyon)	院	2
ドイツ	ミュンヘン工科大学(TUM)	院	5
ドイツ	ダルムシュタット工科大学(TUD)	院	2
イタリア	トリノ工科大学 ※工学系と担当	院	5
ノルウェー	ノルウェー工科大学自然科学大学(NTNU)	院	5
スウェーデン	リンシェーピング大学理工学部 ※工学系と担当	院	2
スイス	チューリッヒ大学自然科学部・経済学部 (UZH) ※工学系と担当	院	5
EU	* ビエール・マリー・キュリー大学(フランス)、 アールト大学(フィンランド)、エトヴェシュ・ローラ ンド大学(ハンガリー)、ベルリン工科大学(ドイ ツ)、カルロス3世・マドリード大学(スペイン)、ト レント大学(イタリア) ”(Erasmus Mundus Programme) ※博士のみ対象	院	注: 2014- 2018年 で3名
情報学環・学際情報学府			
韓国	ソウル大学校社会科学大学コミュニケーション 学科	院	6
公共政策学連携研究部・教育部			
中国	北京大学 国際関係学院	院	5
韓国	ソウル大学校 国際大学院	院	5
シンガポール	シンガポール国立大学リー・クワンユー公共政策 大学院(LKY-SPP)	院	3
ブラジル	ジエトゥリオヴァルガスビジネススクール	院	2

国・地域	協定校	対象	上限枠
アメリカ	コロンビア大学国際公共政策大学院(SIPA)	院	3
アメリカ	カリフォルニア大学サンディエゴ校国際関係・環 太平洋地域研究大学院	院	3
フランス	パリ政治学院(SciencesPo.)	院	3
フランス	HEC経営大学院(HEC Paris)	院	2
ドイツ	ハーディー・スクール・オブ・ガバナンス(HSoG)	院	3
ドイツ	ハイデルベルク大学	院	2



「地域・国別」

※2015年2月現在、交換留学を実施するため、東京大学が学生交流覚書を締結している協定校を掲載している。
ただし、覚書の更新や取扱いの検討等により調整中につき掲載されていない協定校があることや掲載されていても当該年度に交換留学を実施していない場合もあるため注意すること。
※複数の大学とのコンソーシアムタイプの交流は含まれていない。
※担当部局の項目が「全学」となっているものは、国際本部による全学交換留学制度を示している。

40ヶ国・地域 190大学・機関

国・地域	協定校	担当部局
アジア		
台湾	国立交通大学	全学
	国立政治大学台湾史研究科	総
	国立政治大学歴史学系	総
	国立台湾海洋大学	農
	国立台湾大学	全学
	国立台湾大学医学部	医
	台北医学大学医学部	医
バングラデシュ	台北医学大学公衆衛生栄養学部	農
	中興大学獣医学院	農
中国	チッタゴン大学	農
	中国科学院大学	農
中国	華東師範大学思勉人文高等学院	総
	山東大学儒学高等研究院・韓国研究中心	文
	四川農業大学	農
	上海交通大学	全学
	清華大学	全学
	西安交通大学	工
	西南大学	農
	大連理工大	工
	中国農業大学	農
	天津農学院	農
	東北農業大学	農
	東北林業大学	農
	同済大学院	工/新領
	南開大学	全学
	南京大学国際合作交流処 ※AIKOM	教養
	南京農業大学	農
	南京林業大学	農
	復旦大学外事処 ※AIKOM	教養
	北京航空航天大学電子情報工程学院航空科学与工程学院	工/新領
	北京大学	全学
	北京大学国際関係学院	法/公共
	北京大学国際合作部 ※AIKOM	法/教養
	北京大学法学院	法
	北京大学歴史学系	文/総
	北京林業大学	農
	浙江大学	工
	瀋陽薬科大学	薬
香港	香港大学	全学
	香港理工大	工
インド	香港中文大学文学院	文
	タミルナードゥ農業大学	農
インドネシア	デリー大学	文
	インドネシア大学公衆衛生学部〔UEHAS〕	工
	ガジャマダ大学	農
	ガジャマダ大学 ※AIKOM	教養
	パジャジャラン大学	農
	ボゴール農科大学	農
	ムラワルマン大学	農
韓国	ランブン大学農学部	農
	高麗大学	全学
	高麗大学工学部	工
	ソウル大学	全学
	ソウル大学校 国際大学院	公共
	ソウル大学校工科大学	工
	ソウル大学校自然科学大学	理

国・地域	協定校	担当部局
韓国	ソウル大学校社会科学大学コミュニケーション学科	学環
	ソウル大学校人文学	文
	ソウル大学校農業生命科学大学	農
	ソウル大学校法科大学・法学専門大学院	法
	浦項工科大学	全学
	延世大学	全学
	釜慶大学校環境海洋大学	農
	釜慶大学校水産科学大学	農
	釜山大学校人文学	文
	韓国科学技術院 (KAIST) 工学研究科	新領
韓国科学技術院工科大学/生命科学技術大学	工	
韓国外国語大学校東洋語大学・日本語大学	教養・総	
ラオス	ラオス国立大学計画策定・国際協力局	農
マレーシア	マラヤ大学 ※AIKOM	教養
モンゴル	モンゴル国立農業大学	農
フィリピン	フィリピン大学 ※AIKOM	教養
シンガポール	シンガポール国立大学	全学
	シンガポール国立大学リー・クワンユー公共政策大学院 (LKY-SPP)	公共
	シンガポール国立大学人文社会学部 ※AIKOM	教養
	ナンヤン工科大学工学部	工
スリランカ	ルフナ大学	農
タイ	アジア工科大学院	工
	カセサート大学理学部	新領
	カセサート大学獣医学部・農学部・林学部	農
	コンケン大学農学部	農
	タマサート大学国際工学部 (SIIT)	工
	チュラロンコン大学	全学
	チュラロンコン大学工学部 [UEHAS]	工
ベトナム	ハノイ農科大学	農
	ベトナム国家大学ハノイ校付属人文社会科学大学	教養・総
	ベトナム国家大学ハノイ校付属人文社会科学大学 ※AIKOM	教養
	ベトナム国家大学ハノイ校理科大学	工
中南米		
ブラジル	カンピナス大学	新領
	サンパウロ大学	全学
	ジェトゥリオヴァルガスビジネススクール	公共
チリ	チリ・カトリック大学	全学
	チリ カトリック大学 ※AIKOM	教養
チリ大学	全学	
中近東		
イラン	テヘラン大学	文
トルコ	中東工科大学工学部	工
	イスタンブル工科大学理工学部	工
アフリカ		
ナイジェリア	イバダン大学	新領
南アフリカ共和国	ケープタウン大学工学・構築建築部	新領
北米		
カナダ	トロント大学	全学
	ブリティッシュ・コロンビア大学	全学
	マギル大学	全学
アメリカ	イェール大学Fox International Fellowship Program	全学
	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	全学
	カリフォルニア大学サンディエゴ校国際関係・環太平洋地域研究大学院	公共
	コーネル大学医学部	医
	コロンビア大学国際公共政策大学院 (SIPA)	公共

国・地域	協定校	担当部局
アメリカ	ジョンスホプキンス大学クリーガー教養学部	教養
	※AIKOM	
	ジョンスホプキンス大学医学部	医
	スワースモアカレッジ	全学
	テキサス大学M.D.アンダーソンがんセンター	全学
	ニューヨーク大学大学院総合文化研究科	総
	ハーバード・ロースクール ※受入のみ、派遣なし	法
	プリンストン大学	全学
	ペンシルバニア大学医学部	医
	ミシガン大学医学部	医
オセアニア	ミシガン大学教養学部 ※AIKOM	教養
	ワシントン大学教養学部 ※AIKOM	教養
オセアニア		
オーストラリア	アデレード大学	全学
	オーストラリア国立大学	全学
	クィーンズランド大学	全学
	ニューサウスウェールズ大学	全学
	メルボルン大学	全学
	モナシュ大学	全学
	南オーストラリア大学情報科学技術工学環境学部	工
	ロイヤルメルボルン工科大学	工/新領
	シドニー大学 (人文社会科学部、他) ※AIKOM	教養
ニュージーランド	カンタベリー大学工学部	工
	マッセイ大学	農
	オークランド大学 ※AIKOM	教養
	オタゴ大学 ※AIKOM	教養
欧州		
オーストリア	ウィーン工科大学	工/新領/情理
	グラーツ工科大学	工
デンマーク	コペンハーゲン大学	全学
	デンマーク工科大学	工/情理
フィンランド	アールト大学 (旧ヘルシンキ工科大学)	工/農/情理
	ヘルシンキ大学	全学
フランス	EHESS (社会科学高等研究院)	全学
	HEC経営大学院 (HEC Paris)	経/公共
	アグロパリテック (旧:パリ・グリュニオン国立農学院)	農
	エコール・スーペリユール EA (ESIEA)	情理
	エコール・セントラル・ド・ナント校	新領
	エコール・セントラル・パリ	工/情理
	エコール・セントラル・リヨン	工
	エコール・デ・ボン・パリテク	工
	エコール・デ・ミンド・ナント (École des Mines de Nantes)	工/情理
	エコール・ノルマル・スーペリユール	文
	エコール・ノルマル・スーペリユール (リヨン校)	文
	エコール・ノルマル・スーペリユール・カシャン (ENSC :カシャン高等師範学校)	情理
	エコール・ノルマル・スーペリユールリヨン	新領
	エコール・ノルマル・スーペリユールリヨン数学科	数理
	エコール・ポリテクニーク	全学
	エコール・ミン・パリ	工
	グルノーブル アルプ大学 ※AIKOM	教養
	ジャンモネ大学	新領
	ストラズブール大学	全学
	パリ政治学院 (SciencesPo.)	全学/公共
	パリ第7・ディドロ大学	教養・総
	パリ第8大学	教養・総
	ピエール・エ・マリー・キュリー大学 (パリ第6大学) 工学部	工
	フランス国立応用科学院リヨン校 (INSA Lyon)	工/新領/情理
	航空宇宙高等学院 (ISAE)	工
	国立民間航空大学校 (ENAC)	工
ドイツ	ヴュルツブルグ大学生命科学研究科	新領
	カールスルーエ工科大学	工/農
	ケルン大学	全学
	シュツットガルト大学	工
	ダルムシュタット工科大学 (TUD)	工/情理
	ハーティール・スクール・オブ・ガバナンス (HSoG)	公共
	ハイデルベルク大学	公共

国・地域	協定校	担当部局
ドイツ	フランクフルト大学経済経営学部	経
	フリードリヒ・アレクサンダー大学エランゲン・ニュルンベルグ工学部	工
	ベルリン・フンボルト大学	教養・総
	ベルリン自由大学	全学
	ベルリン自由大学 (歴史文化学部、他)	文/教養・総
	ボン大学リサーチ・トレーニンググループ1873	薬
	マルティン・ルター・ハレ・ヴィッテンベルク大学第一哲学部	教養・総
	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクスミリアン大学	全学
	ミュンヘン・ルートヴィヒ・マクスミリアン大学医学部	医
	ミュンヘン工科大学 (TUM)	工/情理
アイルランド	トリニティカレッジ ダブリン大学 人文・人間科学・社会科学学部 ※AIKOM	教養
	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン	全学
イタリア	トリノ工科大学	工/情理
	ピサ高等師範学校	文
	フィレンツェ大学	文
	ミラノ工科大学	工
	ローマ大学 ラ・サピエンツァ 工学部	新領
オランダ	ローマ大学 ラ・サピエンツァ 東洋研究学部 ※AIKOM	教養
	デルフト工科大学機械・海洋・マテリアル工学部	工
	トエンテ大学	工
	フローニンゲン大学	全学
ノルウェー	ライデン大学	全学
	ノルウェー工科大学自然科学大学 (NTNU)	工/情理
ポーランド	クラクフ農科大学	農
	ワルミヤ・マズリー大学	農
ロシア	サンクトペテルブルク大学	全学
	ロシア国立人文大	教養・総
スペイン	バレンシア工科大学	工
	マドリッド工科大学建築学部	工
スウェーデン	イエテボリ大学	医
	イエテボリ大学S.A. アカデミー	薬
	ウプサラ大学	全学
	スウェーデン王立工科大学	全学/工
	スウェーデン農科大学	農
	ストックホルムスクール・オブ・エコノミクス	経
	ストックホルム大学	全学
	ストックホルム大学教育学部	教育
	チャルマース工科大学	工
	リンシェーピング大学理工学部	工/情理
	ルレオー工科大学 ※修士のみ対象	工
	ルンド大学	全学
スイス	ジュネーヴ大学	全学
	ジュネーヴ大学 ※AIKOM	教養
	スイス連邦工科大学チューリッヒ	全学
	スイス連邦工科大学ローザンヌ (EPFL)	工
	チューリッヒ大学自然科学部・経済学部 (UZH)	工/情理
英国	インペリアルカレッジロンドン工学研究科化学工学専攻	新領
	ウォリック大学 ※AIKOM	教養
	エジンバラ大学獣医校	農
	サウサンプトン大学	全学
	シェフィールド大学	全学
	ダラム大学	全学
	マンチェスター大学人文学部	文/経
	ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	全学
	ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンス ※博士課程のみ対象	経
	ロンドン大学東洋アフリカ学院	全学

3. 3ヶ月未満の留学（大学を通じて応募するもの）

Motivation for your Future

「自分の語学力が把握できた」「積極的なディスカッションの面白さを知った」「大切な友人が世界にできた」など、短期間の留学でも長期的な収穫を得ることができます。

3ヶ月未満の留学の長所

- ①期間が短く、費用が抑えられる
- ②東京大学での授業・課外活動・就職活動等への影響が低い
- ③短期間で海外文化の体験、学生との交流、語学力・学力向上が可能
- ④交換留学・大学院留学など長期的な留学への準備となる

海外の有力大学が夏に開催する3ヶ月未満の既存のプログラムから、良質な約50のプログラムを選別して、東京大学からの奨学金付きで参加する学生を募集します。世界トップレベルの学生と少人数で受講する集中的プログラム、専門科目を学ぶ講義型プログラム、語学学習中心のプログラムまで、様々なものがあります。

（2015年夏留学分の募集は終了しましたが、2016年夏募集分については、2015年12月頃に募集が開始される予定です。2015年は以下のカテゴリで募集を行いました。2016年については変更となる場合があります）

①国際本部奨学金付き*

夏季短期留学プログラム(2015年第1回)

- IARU Global Summer Program
- IARU(International Alliance of Research Universities:国際研究型大学連合)に加盟する世界トップクラスの10大学によるプログラム。毎年6月から8月の間に2～6週間程度の期間で開催され、各校がお互いに学生の派遣・受入を行い、各大学の教授陣が、加盟各校から選抜された学生のために集中的なプログラムを実施します。日本で参加できるのは東大の学生だけ。短期集中、世界トップレベルの学生と寝食をともにしながら、英語での課題・濃密なディスカッションに挑戦し、人生を変えるような刺激を受けて帰ってきています。
- 東大生海外体験プロジェクト(卒業生有志の学部生短期留学支援プログラム)
- より多くの一般的な学部学生に積極的に海外体験をしてほしいという理念に基づき、本学卒業生が行う寄附募集活動「東大生海外体験プロジェクト」による寄附金から奨学金を支給し、学部学生を短期留学プログラム等に派遣します。このプロジェクトは各界の著名な卒業生が発起人となっており、参加後は卒業生との懇談会で成果を報告することが予定されています。
- 大学院生短期留学支援プログラム
- 大学院学生を海外短期留学プログラム等に派遣します。

年間募集サイクル

3ヶ月未満の留学の場合、夏季(6月～8月頃)、冬季(1月～3月頃)にプログラムが行われます。特に夏季はサマープログラムとして最も多く開催される期間です。(夏季のプログラムは、1～2月頃に募集されるのが一般的ですが、4～6月まで応募可能なものもあります。)募集期間が短く、締切が早いプログラムも多いため、参加可能なプログラムの選択肢を広げるには、TOEFL・IELTSを受験し、募集期間までに必要なスコアを所持しておくことが大切です。

一般的な夏季および冬季の留学プログラム(大学本部を通じて応募するもの)の募集サイクル※以下の2つの募集サイクルは代表的な例で、これに当てはまらないプログラムもあります。										
夏季 [予定]										
～12月まで	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	募集時期①12～2月頃 (第1回)奨学金付き夏季短期留学プログラム ○情報収集・学内申請書作成 ○2月中旬頃学内応募締切		○学内選考(書面) ○〔東京大学からの推薦が必要なプログラムについては〕学内選考通過者を派遣先大学へ推薦、派遣先大学での審査、審査結果連絡		○各自プログラム実施大学への参加申請 ○留学開始までの手続き(宿舍・ビザ・保険等) ○学内の派遣前オリエンテーションへ参加		プログラム開講			
					募集時期②4～5月頃 (第2回)奨学金付き夏季短期留学プログラム ○情報収集・学内申請書作成 ○5月下旬頃学内応募締切		○学内選考(書面) ○留学開始までの手続き(宿舍・ビザ・保険等)、事前学習 ○学内の派遣前オリエンテーションへ参加		プログラム開講	

冬季 [予定] 開講に向けて調整中のため、下記は暫定的なスケジュールです。

～7月まで	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
			募集時期③9～10月頃 奨学金付き冬季留学プログラム ○情報収集・学内申請書作成 ○10月頃学内応募締切		○学内選考(書面) ○留学開始までの手続き(宿舍・ビザ・保険等)、事前学習 ○学内の派遣前オリエンテーションへ参加		プログラム開講			

東京大学が海外大学と連携して東大生のためにつくったプログラム(夏と冬)に、東京大学からの奨学金付きで参加する学生を募集します。以下のプログラムを予定しています。

(2015年2月現在の予定であり、変更になる可能性があります)

プログラムには以下の2つのカテゴリがあります。

〈作り込み型プログラム〉

東京大学の教員が海外パートナー校と連携し実施します。講義やフィールドワーク、現地学生とのグループワークや交流などを組み合わせたプログラムです。

〈カスタマイズ型プログラム〉

海外留学に興味があるものの語学力に不安がある学生向けに、海外パートナー校に東大生向けのプログラムのカスタマイズを依頼して実施します。パートナー大学教員の講義や語学サポートを組み合わせたプログラムです。

②国際本部奨学金付き*

夏季短期留学プログラム(2015年第2回) [予定]

- 〈作り込み型プログラム〉
- 国立台湾大学・イリノイ大学・東京大学合同サマープログラム
- 北京大学・東京大学合同サマープログラム
- ソウル大学・東京大学合同サマープログラム
- 〈カスタマイズ型プログラム〉
- シェフィールド大学サマープログラム
- ワシントン大学サマープログラム

③国際本部奨学金付き*

冬季短期留学プログラム(2016年) [予定]

- 〈作り込み型プログラム〉
- ベルリン自由大学ウィンタープログラム
- 〈カスタマイズ型プログラム〉
- カリフォルニア大学サンディエゴ校ウィンタープログラム

*奨学金の受給には、一定の条件を満たす必要があります。

その他のプログラム

上記以外にも、費用の全額や一部を主催者が負担する海外研修や学生会議なども毎年数件実施されます。募集期間が短い場合が多いので、ウェブサイトやSNSでこまめに情報を得るようにしてください。(P47「情報収集方法」のページを参照)

3ヶ月未満の留学 プログラム一覧(国際本部担当プログラム)

大学を通じて応募する3ヶ月未満の留学プログラムのなかにも、語学力の向上を目的とする語学学習系から、アカデミックなテーマについて授業・ディスカッションを行う講義受講系のもの、それら両方が組み合わさったもの、フィールドワークを含むものなど、様々なものがあります。

60を超える各種サマー及びウィンタープログラムについて、東京大学本部では、2015年度に3回にわけて募集します。その他にも、プログラムごとに単発で募集するものもあります。

※下記情報は2015年3月現在の予定となり、変更となる場合があります。									
プログラム名	開催地	時期	授業料・宿泊費 [概算]	募集人数 (本学内での募集人数)	語学レベル	募集開始	応募締切	備考	

世界13カ国で開催される、50程の既存のサマープログラムへ、東京大学からの奨学金付き*で参加を希望する学生を、まとめて募集します。

語学学習中心のものから、専門科目を学ぶものまで、様々なプログラムがあります。

東京大学国際本部 奨学金付き夏季短期留学プログラム(2015年第1回)									
海外大学既存の短期留学プログラム	IARU Global Summer Program (IARU GSP)	世界7カ国	6～8月の2～6週間	4～70万円(奨学金6万円～40万円を支給)	40名程度	高 (TOEFL80～100目安)	12月	2月	
		IARUに加盟する世界トップレベル10大学での夏季留学プログラム。 (派遣先大学) オーストラリア国立大学、スイス連邦工科大学チューリッヒ校、シンガポール国立大学、北京大学、カリフォルニア大学バークレー校、ケンブリッジ大学、コペンハーゲン大学、オックスフォード大学、イエール大学							
	東大生海外体験プロジェクト(卒業生有志の学部生短期留学支援プログラム)	世界各国	5月～9月の数週間	0～100万円(奨学金6万円～48万円を支給)	未定	プログラムにより異なる	12月	2月	
		卒業生有志の支援により、海外有力大学のサマープログラムや語学研修に学部学生を派遣。 (2015年派遣先大学の例) 台湾:国立台湾大学 アメリカ:イエール大学、カリフォルニア大学各校(バークレー校、デービス校、ロサンゼルス校)、ペンシルバニア大学、シカゴ大学 カナダ: プリティッシュ・コロンビア大学 フランス:パリ政治学院、フランス国立応用科学院リヨン校 ドイツ:ケルン大学、ベルリン自由大学 オランダ:ユトレヒト大学 英国:サセックス大学、ロンドン大学、ヨーク大学							
大学院生短期留学支援プログラム	大学院生短期留学支援プログラム	世界各国	5月～9月の数週間	0～100万円(奨学金6万円～24万円を支給)	未定	プログラムにより異なる	12月	2月	
		大学院学生を海外大学サマープログラム又は語学研修に派遣。 (2015年派遣先大学の例) 台湾:国立台湾大学 アメリカ:イエール大学、カリフォルニア大学各校(バークレー校、デービス校) ドイツ:ケルン大学							

海外パートナー校と連携して、東大生のためにつくったサマープログラムとウィンタープログラムへ、東京大学からの奨学金付き*で参加を希望する学生を募集します。

東京大学国際本部 奨学金付き夏季短期留学プログラム(2015年第2回)									
作り込み型プログラム	↑ 国立台湾大学・イリノイ大学・東京大学合同サマープログラム	台湾・日本	8/1-10 (東京) 8/12-21 (台北)	未定	8名	英語でディスカッション等 できるレベル	4月	5月	フィールドワーク+講義等
	↑ 北京大学・東京大学合同サマープログラム	中国	8/24-9/4	未定	12名	英語でディスカッション等 できるレベル			フィールドワーク+講義等
	↑ ソウル大学・東京大学合同サマープログラム	韓国・日本	8/3-12 (東京) 8/17-26 (ソウル)	未定	15名 (学部学生)	英語でディスカッション等 できるレベル			
カスタマイズ型プログラム	↑ シェフィールド大学サマープログラム	英国	8/3-8/14	未定	24名 (学部学生)	中 (TOEFL65-80目安)			英語による講義+事前・事後セミナー+語学研修等
	↑ ワシントン大学サマープログラム	アメリカ	8/10-8/21	授業料 2,000米ドル+ 宿泊費 929.50米ドル	20名	高 (TOEFL80必須)			法学・社会学系講義+語学研修+フィールドトリップ等
東京大学国際本部 奨学金付き冬季短期留学プログラム(2016年) [予定]									
◇	↑ ベルリン自由大学ウィンタープログラム	ドイツ	未定	未定	未定	未定	9月	10月	
◇	↑ カリフォルニア大学サンディエゴ校ウィンタープログラム	アメリカ	未定	未定	24名 (学部学生)	中 (TOEFL65-80目安)			英語による講義+事前・事後セミナー等

海外大学や国内外の団体等のプログラムについて、プログラムごとに単発で参加希望学生を募集します。

その他のプログラム									
CSPC Presidential Fellows Program	アメリカ	10月・3月の1週間ずつ	主催者が負担	1名	高(米国学生と比べても問題ない程度)	1月	3月	ワシントンDCでの研修及び研究(米国政治関係)	
ストックホルム国際青年科学セミナー	スウェーデン	12月の1週間	国際科学技術財団が負担	2名	高(TOEIC700以上)	7月	8月	ノーベル賞授賞式への出席のほか、世界の学生と交流	
パリ政治学院(Sciences Po) European Studies Programme	フランス	2～3月の4週間程度	4,000ユーロ	7名程度	高(TOEFL87またはIELTS 6.0必須)	10月	11月	使用言語は英語。日本の学生向けプログラム	
イオン1%クラブ	東南アジア諸国	1週間程度	主催者が負担	若干名	高	未定	未定	環境問題をテーマにアジアの学生とのディスカッション、交流	

※各項目は、あくまで目安として簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報・詳細はウェブサイト等で確認してください。

※費用については、原則として航空賃・生活費等を除いた、授業料と宿泊費の目安を掲載しています。

※↑印のものは2015年3月現在、開催に向けて調整中のため、各項目は暫定的な情報です。

*奨学金の受給には、一定の条件を満たす必要があります。

教養学部前期課程 主題科目「国際研修」

東京大学教養学部前期課程では、2015年度から主題科目「国際研修」を新たに開講します。「国際研修」は、前期課程の学生が、異なる言語・文化の環境に触れ、国際交流の現場を体験し、グローバルな視野を養うことを目標とする授業です。授業内容としては、(1)海外教育機関との共同プログラム、(2)現地の学生との合同見学・合同実習等を含む短期の海外研修、(3)海外の学生との合同国内研修、といった様々な活動があります。そのような機会によって得られる成果が、主題科目の単位として認定されます。

「国際研修」は、6～8月(9月上旬を含む)の「サマー」、1～3月の「ウィンター」の時期に実施されます(海外に渡航する前に、通常のセメスター／ターム中に事前講義を実施する場合もあります)。

「国際研修」の受講にあたっては、海外渡航経験の有無は問いません。「国際研修」はむしろ、学生にとってのはじめての海外経験を、後押しする科目です。進んで自分の視野を開こうとする、学生の積極的な参加姿勢がのぞまれます。

なお、授業によっては、参加者の選抜を行ったり、ある水準以上の語学力を求めたりする場合があります。学生が負担する費用については、授業によって異なるので、詳細はそれぞれの授業のシラバスを参照し、ガイダンスで説明を受けて下さい。

2015年度は以下の授業の実施が予定されています。

＊サマー

講義題目	研修地	実施時期
中国語サマースクール	中国	8月
ペルージャでイタリア語を学ぶ	イタリア	8月
EUの現状と課題	ドイツ	8月
学問としての「オリンピック」	ギリシャ、フランス	8月末～9月初め(Sセメスターに事前講義あり)

＊ウィンター

講義題目	研修地	実施時期と期間
オーストラリア国立大学の学生との合同実習	オーストラリア	1月～2月
シドニー大学英語教育センター集中講座	オーストラリア	1月～2月
海外の学生と学ぶ日本の文化と社会	日本(東京大学、国内フィールドワーク)	1月～2月
イタリアと食文化・農業・共同体	イタリア	2月もしくは3月
多文化・多宗教共生社会を学ぶ	マレーシア	2月

＊上記の予定が変更される場合があります。このほかにスペイン語圏での研修を含む講義等、検討中の企画もありますので、シラバスで確認して下さい。
＊本科目についての問い合わせ先:教養学部 国際交流センター グローバリゼーションオフィス 国際研修担当(globalpraxis@global.c.u-tokyo.ac.jp)



各学部・研究科などで実施されるプログラムの例

東京大学リベラルアーツ・プログラム(教養学部・総合文化研究科)



リベラルアーツ・プログラム(LAP)は、教養教育を海外へ発信し、学生交流を通じてグローバルな視野と総合的判断力を身につけた人材の育成を目指す教育交流プログラムです。中国の南京大学と連携し、(1)3月に南京大学で本学の教員による文理融合のテーマ講義を開講し、学部1年生から院生までの混合チームを派遣。フィールドワークとグループ討論を行います。(2)8月に南京大学で中国語の特訓サマースクールを実施し、中国語履修の学部2年生を派遣します。(3)11月に南京大学の学生を駒場に招き、東京大学一週間体験プログラムを実施。東大生とともにフィールドワークとグループ討論を行います。さらに、学部3年生以上を対象に、中国語上級サマースクール「深思北京」を、中国人民大学と連携して、秋に開講しています。詳しい紹介と参加者の体験談はLAPのウェブサイトをご覧ください。意欲的な学生の参加を期待します。

対象学生:教養学部前期課程の学生
実施期間・時期:授業は夏学期・冬学期に行い、授業終了後の夏休み・春休みの期間中に10日程度の海外研修を行う
応募方法:参加学生は授業を履修し、その後レポートを提出し、審査に合格する必要がある
問い合わせ先:総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構 体験型リーダー養成部門

GPPN学生会議(公共政策学教育部)



東京大学公共政策大学院では、国際化に対する取り組みを強化し、国際会議への学生の派遣や、交流協定を持つ海外の大学院とのアカデミックディスカッションを行うなど学生交流の機会を積極的に展開しています。その一例として、毎年12月頃に行われる「GPPN学生会議」に10名前後の学生を派遣し、その費用の一部を大学院が負担しています(GPPN: Global Public Policy Networkの略。世界公共政策ネットワーク)。この国際会議はGPPN加盟校が持ち回りで主催しており、2013年度は東京大学、2014年はベルリンで開催しました。2015年はブラジルのFGVで開催予定です。当大学院に在籍し、英語でのディスカッションができることが応募の条件となります。2014年の例や応募方法、その他の国際交流イベントについては、公共政策大学院のウェブサイトを参照してください。

対象学生:公共政策学教育部の大学院学生
実施期間・時期:12月上旬、2日間
応募方法:主催大学による書面審査。10月ごろに応募締切予定
URL:(GPPN 学生会議)http://www.gppn.net/
公共政策大学院:http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/
問い合わせ先:intl-affairs@pp.u-tokyo.ac.jp

UTokyo Innovation Summer Program(知の構造化センター)



UTokyo Innovation Summer Program(TISP)は、i.school メソッド、ケースメソッドという本プログラムが有する実践的な教育手法を用い、日本の文化と東北の課題解決という、今の日本でしか学ぶことができないテーマに基づき体験する、革新的な教育プログラムです。海外からの参加者、東大生から各20名ずつの計40名と社会人参加者10名程度が、東京・東北のワークショップ、フィールドワークからなる2週間のプログラムに参加し、イノベーションを起こし、社会の課題を革新的に解決する思考方法・アプローチ・視座、そしてスキルをグローバルな環境下で磨きます。一昨年と昨年に行われた過去2回のプログラムでは、海外からはハーバード大学、スタンフォード大学、UCバークレー、オクスフォード大学、デルフト工科大学、清華大学などの学生が審査の上、選ばれ、プログラムに参加しました。

対象学生:学部学生・大学院学生。専攻・学年の別は問いません
実施期間・時期:2015年8月1日～8月12日(東北:8月8日～8月12日)
応募方法:オンラインによる応募(東大生の募集期間:4月19日～5月31日)
URL : http://ischool.t.u-tokyo.ac.jp/summer/
問い合わせ先:sp_info@ischool.t.u-tokyo.ac.jp

角川寄附講座サマープログラム(情報学環)



大学院情報学環は一般財団法人角川文化振興財団からの寄付により、日本のポップカルチャーに関する教育・研究を国際的にリードしていくことを目的として、2013年11月「角川文化振興財団メディア・コンテンツ研究寄附講座」を開設しました。サマープログラムは本寄附講座の主な活動の一つです。このプログラムでは毎年2週間、東京大学の学生だけでなく国外大学所属の学部生・大学院生を受け入れて、日本のポップカルチャーやメディア・コンテンツをめぐる諸現象を学ぶとともに、コンテンツ制作現場で実践の経験を積む機会を提供しています。第一回目の昨年は、「メディアミックス」をメインテーマに行われました。国外大学生の募集数20名に対して、ハーバード大、UCバークレー、ロンドン大学、パリ第8大学、シンガポール国立大学など28カ国から300人以上が応募しました。二年目の今年は、「メディア化された世界—社会性、公共性、セレブリティ」をテーマとしました。プログラムでは本学所属講師に加え、国内外から日本のポピュラーカルチャー分野における最先端の研究者による講義、メディア・アーカイブ訪問や様々なファン・イベント調査も行います。詳細については本プログラム専用サイト(下記)を参照してください。

対象学生:東京大学学部3,4年生ならびに大学院生(専門分野は問いませんが、書類審査はエッセイ課題を含みます。)
実施期間:2015年7月23日—8月6日
応募方法:東大在学生向け応募要項は4月初旬以降発表予定
URL:http://kadokawa.iii.u-tokyo.ac.jp/summer_program/
問い合わせ先:inquiry@kadokawa.iii.u-tokyo.ac.jp

4. その他の留学（個人応募での留学など）

1学期～1年の留学（交換留学以外）

交換留学以外の方法で1学期～1年留学する場合、以下のような方法があります。基本的には授業料等の費用は全て自己負担となりますが、中には奨学金つきプログラムや授業料が割引となるプログラムもあります。また、東京大学や民間財団などの留学用の奨学金に応募することもでき（P36参照）、東京大学を休学することも可能です。（P30参照）

【大学公募】カリフォルニア大学バークレー校・デービス校派遣プログラム(UC派遣プログラム)

カリフォルニア大学2校との協力により、東大生を1学期～1年派遣する留学プログラムです。東京大学を通じて応募することが可能です。

【個人応募】海外大学のVisiting Studentプログラムなど

海外の大学では、Visiting Studentな

どの身分で他大学の学生を1学期～1年間受け入れる大学もあり、そのような大学に個人で応募することも可能です。

【個人応募】学外の団体や民間奨学金による留学プログラム

学外の団体を利用すると留学手続きのサポートなどを受けることができますが、その分費用が高くなる傾向があります。ただし、民間の奨学団体などにより奨学金が支給されるプログラムもあります。

3ヶ月未満の留学（個人応募）

毎年夏には、世界中の大学が、他大学の学生も履修可能な集中講義や語学研修などのサマープログラムを実施します。このようなプログラムに個人で応募し、参加することも可能です。民間の留学斡旋業者も多くの留学プログラムを実施しています。

個人応募の場合、費用は全て自己負担となりますが、東京大学や民間財団などの留学用の奨学金に応募することも可能で

す。ただし、3ヶ月未満の留学用の奨学金は、1学期～1年の留学に比べて数が少なくなっています。（P36参照）

個人応募で留学する場合の注意事項

手続き等をすべて自己責任で進めることになります。期間やプログラムの内容、費用、参加条件など予め十分な情報収集を行ってください。学外の団体を利用する場合は、自分自身の責任と判断により信頼性を確認し、自分の目的に合った団体・プログラムを選んでください。

参考:日本学生支援機構「留学斡旋業者の利用について」

http://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/basic/agency/

また、応募前に、個人で留学する場合の留意点について、留学時の東京大学での所属学部・研究科等の担当部署に必ず確認・相談してください。参加が決まったら、安全と危機管理（P44参照）の面でも十分注意してください。

その他の留学プログラム（個人応募のプログラムなど）の例

1学期～1年のプログラム

プログラム名	開催地	時期	費用(授業料・宿泊費)	募集人数	語学レベル	応募締切	備考
カリフォルニア大学バークレー校・デービス校派遣プログラム(UC派遣プログラム)	アメリカ	バークレー:1学期～1年 デービス:1クォータ(11週)～1年	バークレー:20,000米ドル/学期 デービス:授業料5,815米ドル/ クォータ + 宿泊費	バークレー: 5名程度 デービス: 20名	バークレー:高 (TOEFL90以上) デービス:中～高 (TOEFL71～80*) *no sub-score below 19	4月 (3月募集開始)	東京大学を通じて応募。正規授業履修や英語学習など
イリノイ大学 小山八郎記念奨学留学生	アメリカ	8月-5月	授業料免除	4名	高(TOEFL 79、 IELTS 6.5)	10月	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校教養学部への留学
ベイツ大学 平沢和重奨学基金	アメリカ	9月-5月	授業料・寄宿舎費用を全額支給	1名	高	12月	大学1～3年生を優先
The Study Abroad Foundation SAF留学	世界各国	プログラムにより異なる					SAFという団体を利用した海外大学への留学。語学力強化、授業履修など
ハーバード大学 Visiting Undergraduate Student Program	アメリカ	8月-12月 and/or 1月-5月	授業料 5,052米ドル/course 宿泊費 4,504米ドル/semester	不明	高	4月(8月留学) 10月(1月留学)	
コロンビア大学 Visiting Student Program	アメリカ	9月-12月 and/or 1月-6月	授業料 48,646米ドル/year 宿泊費・食費 12,432米ドル/year	不明	高(TOEFL 100、 IELTS 7)	3月(9月留学) 11月(1月留学)	
オックスフォード大学 Visiting Student programme at St Peter's College	英国	10月-6月	24,984～32,519ポンド/year	不明	高(TOEFL 110、 IELTS 7)	1月	
London School of Economics and Political Science The General Course	英国	10月-6月	17,544ポンド/year+宿泊費	不明	高(TOEFL 107、 IELTS 7)	1月～6月頃 (定員に達した時点で終了)	

3ヶ月未満のプログラム

プログラム名	開催地	時期	費用(授業料・宿泊費)	募集人数	語学レベル	応募締切	備考
世界各国の有力大学 Summer Session, Summer School	世界各国	5月～8月頃	数十万円	多数	高(プログラムにより異なる)	3月～5月頃	世界の有力大学の夏季集中講義に個人応募で参加可能 例:ハーバード大、スタンフォード大等
インド国立イスラム大学 International Summer School	インド	6月28日-8月7日	3,950米ドル (うち授業料1,600米ドル分の奨学金あり+インド国内旅費補助奨学金500米ドル)	東大生への奨学金は3名		4/30	インド政府観光省後援のプログラム。 東大生設定の奨学金(授業料1,600米ドル相当分+インド国内旅費補助として500米ドル)を3名に支給予定
カリフォルニア大学各校 Extension(附属語学学校)	アメリカ	随時	数十万円	プログラムによる	中～低	随時	カリフォルニア大学各校には附属の語学学校があり、海外学生を受け入れている
VIA Stanford Programs	アメリカ	春・夏の数週間	2,700～6,800米ドル		プログラムによる		VIA(米国NPO)によるスタンフォード大学等でのプログラム。医療、社会変革、社会起業家、語学等のプログラム

※各項目は、あくまで目安として2015年2月時点での情報を簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報・詳細はウェブサイト等で確認してください。
※費用については、原則として航空賃・生活費等を除いた、授業料と宿泊費の目安を掲載しています。
※TOEFLはiBTスコアを記載しています。
※上記は一例で、他にも様々なプログラムがあります。

5. 留学体験談

国際体験とひとくちに言っても、その方法は様々です。

どんな方法がよいかは、みなさん一人一人で違います。

ここからは、留学経験者の体験談を掲載します。

全学交換留学、短期のサマープログラム、個人応募での留学など、

様々な方法でかけがえのない体験をした先輩たちの生の声をききながら、今の自分にぴったりの方法を考えてみませんか。

きっとその過程も楽しいはずです。



※海外インターンシップ・ボランティア体験談はP41に掲載しています。



氏名：船引 まどかさん
 所属学部・研究科・学年(留学開始時)：教養学部教養学科 3年
 留学先大学名：プリンストン大学
 留学プログラム名：全学交換留学
 留学期間：2014年9月～2015年6月

Work hard, play hard:充実したアメリカの大学生生活

一学期に4つだけの濃い授業

プリンストン大学は、アメリカのアイビーリーグと呼ばれる名門私立大学の一つです。リベラルアーツに力を入れている大学なので、一学期に受講する4つの授業のうち、半分は専攻のものをとり、残り半分は興味のある他の分野のものをとりました。授業は1つにつき基本的に週3時間で、大人数での講義と少数人数でのディスカッションに分かれていることが多いですが、中には3時間のゼミ形式のものもあります。一学期に10コマ以上とる東大とは違い、一つの授業にかかる時間が長いので内容はとても濃く、授業で友達もできます。また、リーディングの課題は予想以上に多く、エッセイも課され、平日はそれらに追われていました。リーディングで取り込んだ知識をディスカッションでアウトプットする力は現地の学生に比べてかなり劣っていたので、最初は苦労する毎日でしたが、本当に鍛えられます。

海外の大学でしか得られない経験

プリンストンの学生は勉強で忙しい中でも様々な活動に参加するので、授業外でできる活動は幅広いです。私は日本に興味のある学生と知り合うために、週一回会って日本語を話すlanguage partnerや、日本語テーブルの活動に積極的に参加しました。Eating clubというプリンストン独特の社交クラブのようなものにも入りました。また、留学生活の醍醐味はなんといっても寮生活です。交換留学生はresidential collegeに入れてもらえるので、そこで開かれる様々なイベントに参加することができます。夜は友達とボードゲームをして遊ぶこともあり、東大では経験できない楽しさがありました。留学を通して学べることは、語学力、勉強はもちろんですが、海外に一人で出ていく強さが最も大きいと思います。少しでも留学に興味のある方は、ぜひ一歩を踏み出してください。



留学中は意外と旅行に行きやすいです!私は休暇中にアメリカ各地、メキシコ、さらにはイギリスとアイルランドまで足をのびしました。同時に世界に留学している友達と連絡をとっておくと良いです。



氏名：野口 亮さん
 所属学部・研究科・学年(留学開始時)：理学部物理学科 4年
 留学先大学名：香港大学
 留学プログラム名：全学交換留学
 留学期間：2014年9月～2015年5月

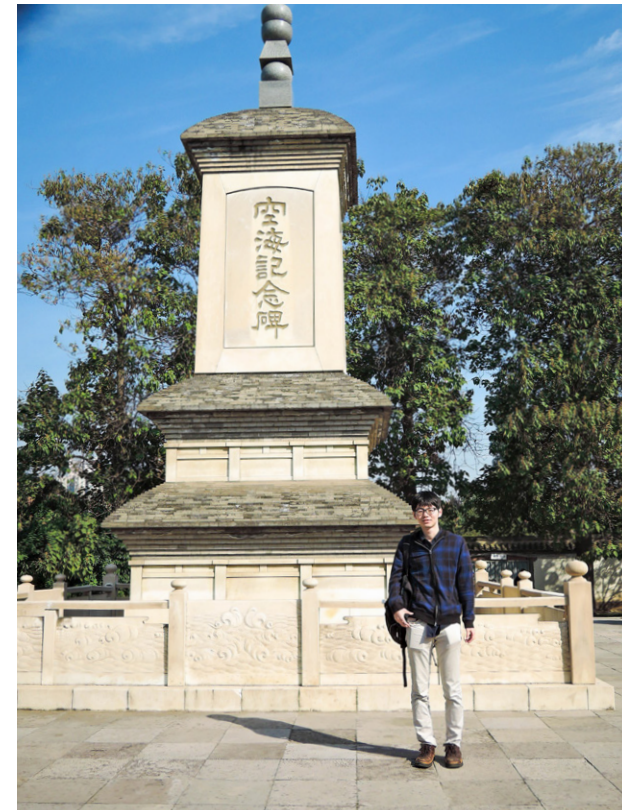
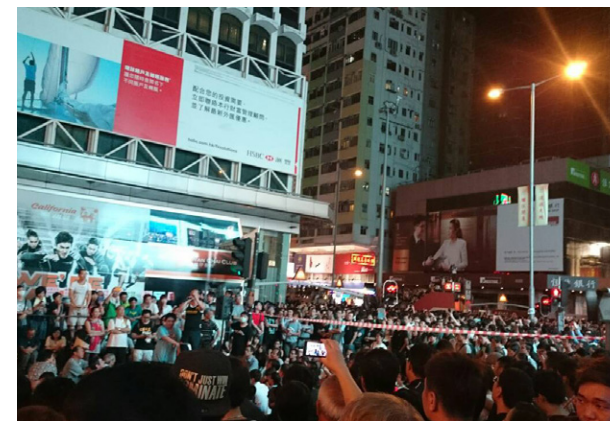
近くても異なる、人、言葉、文化。理系学生の香港留学

海外との近さを感じるキャンパス生活

アジアの規模を誇る金融街の西側に位置する香港大学は、香港と中国本土に加えて世界中から学生が集まる総合大学です。交換留学生は一つの学部にも所属し、その学部の授業を中心に興味があるものは他学部からも選択して受講することができます。私は主に所属している理学部の物理や化学の授業を選択しています。授業は基本的にすべて英語で行われ、授業時間は短いものの課題や自主作業の量が多く、授業外での学習が重要になります。さらに、自分でテーマを決めて調査を行い発表するという研究形式の課題も多く、アウトプットの能力を常に意識させられます。また私は物理学科の研究室にも所属しています。研究室の雰囲気は日本とよく似ていますが、学科の建物で毎週のように開かれるセミナーではアメリカや中国本土の研究者がスピーカーとしてくるが多く、学外とのつながりも強いことが伺えます。

人的交流の盛んな街、理系としての留学

現在の私の住居である学生寮では、現地の学生が中心となってさまざまな文化・スポーツ活動が行われています。私は空き時間には中国語の練習会に参加したり、休日には香港郊外や中国内地などの各地へ出かけたりもしています。その他、特にアジア各国からの留学生と知り合う機会が多く、彼らとお互いの国の教育や文化について語り合うことが新しいことを考えるきっかけとなっています。理系で留学というとPhDを目指す留学が頭に浮かぶ人が多いかと思います。私もそう考えて留学情報を探していましたが、学生のうちに一度はアジアのほかの地域で生活し、その中で自分の発想や進路について考え直してみたいと思い、香港大学への交換留学を希望しました。今回の香港での経験が、将来どこかで必ず役に立つと期待しています。留学は一種の挑戦であり、難しく考えてしまいがちですが、始めてみれば意外と勢いで乗り切ってしまうものだと思います。この文章が、読んでいただいた方の新しい挑戦へのきっかけとなると幸いです。



昨年の香港デモ「雨傘革命」では、金融街や繁華街がデモ参加者で埋め尽くされました。現場は今まで感じたことの無い種類の熱気と喧噪とに支配されており、非常に忘れ難い空間になっていました。



氏名：杉江 美祥さん
 所属学部・研究科・学年(留学開始時)：文学部行動文化学科 4年
 留学先大学名：コペンハーゲン大学
 留学プログラム名：IARU Global Summer Program
 留学期間：2014年7月(4週間)

美しい北欧の街・コペンハーゲンで、息をするように「人生」を問う

異文化・異分野に誘われて

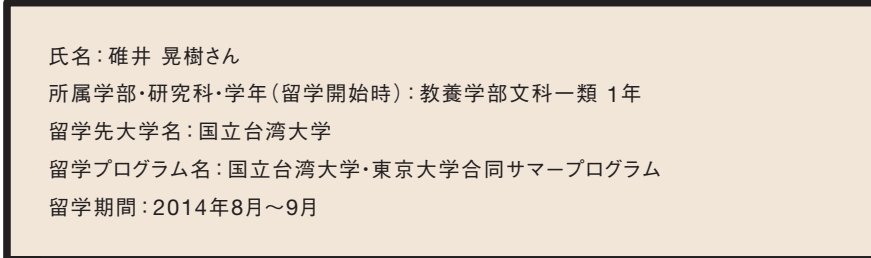
デンマークにあるコペンハーゲン大学で、その地ゆかりの哲学者キルケゴールについて学ぶ4週間のコースを受講しました。このコースを選んだ理由は「語学を学ぶのではなく、英語で学びたい」、「専攻と違う分野にもみっちり取り組んでみたい」という学びへのモチベーションはもちろんのこと、昔どこかで見た、カラフルな家々が並ぶ美しい港町・コペンハーゲンの写真が強く印象に残っており、「北欧文化」を旅行ではなく暮らしの視点で体験してみたいという思いもありました。

コペンハーゲン大学はCity Campusのため市内の中心にあり、アクセスに便利でした。授業は週3回、それぞれ3時間。レクチャースタイルの講義で、課題のリーディングパートについて教員が質問を投げかけ、ディスカッションをするスタイルです。受講学生は20名程度で、アメリカやカナダ、シンガポール、中国など世界中から集まっ

た学生と現地の学生が参加していました。

キルケゴールとデンマークに触れて、自己を見つける

講義内容が「哲学」だったこと、そして自由に使える時間が比較的多かったことから、日常を離れた異国の地で「どう生きるか」について考えさせられた1ヶ月でした。キルケゴールの「自己」を問う深い思想、参加学生との何気ない会話、そして世界で最も幸福度が高い国のうちの一つである、デンマークの丁寧な暮らし、その全てに良いきっかけをもらいました。留学は様々な人や価値観と出会うことで、自分の世界を広げるチャンスだと思います。「お金がかかる…」 「語学のスコアが…」など制約条件があるかもしれませんが、「行きたい!」という好奇心と執念を持って、ぜひ自分の道を切り開いていくください。みなさんの留学が素敵なものになりますように。



氏名：碓井 晃樹さん
 所属学部・研究科・学年(留学開始時)：教養学部文科一類 1年
 留学先大学名：国立台湾大学
 留学プログラム名：国立台湾大学・東京大学合同サマープログラム
 留学期間：2014年8月～9月



「小さな東アジア」の体験

共に過ごすことで「国籍」を超えた繋がり

私が参加したのは国立台湾大学と東大との合同サマープログラムで、両大学の学生それぞれ12人ずつが参加しました。日台の学生が混ざって班に分かれ予めテーマを設定し、講義と外部訪問での内容を踏まえ最終日にプレゼンを行うという流れでした。講義・外部訪問で印象深かったのは日台中関係や台湾の学生運動など政治的な面でのお話です。総統府や民進党本部でお話を伺うことができるなど非常に有意義な学習でした。また、始めから班に分かれたことにより両者の打ち解けも早くプログラム外での活動も楽しいものでした。有名な夜市や九份など多くの観光地に一緒に行くことができ、学習以外の面でも非常に充実していたと感じています。全体として満足度の高いプログラムでしたが、その中でも最も印象的だったのは、参加者の幅の広さです。東大側の参加者には在日韓国人の方や中国人留学生の方もいて、日台中韓の「小さな東アジア」がそこにはあり、多くの刺激を受けることが出来ました。歴

史認識問題など非常に敏感な話題に関しても臆することなく意見を交わすことができ、それまでの自分の視野の狭さを実感することもありました。これも、3週間共に過ごし「国籍」を超えて一人の「人間」同士として打ち解けられたからこそであり、このプログラムの最大の長所だと思います。

海外を知るなら、まずは「最も近い外国」から

留学、と聞いて欧米ばかりをイメージするのは非常に勿体ないと思います。グローバル人材への第一歩として、まずは「最も近い外国」である台湾を知ることが、外国人との価値観の相違点・共通点を認識していく訓練になるのではないのでしょうか。英語は伝えようと頑張れば案外伝わるものですし、話してみなければ上達しません。特に私のように海外経験が浅い人はとにかくこのプログラムに参加し、外国の方と直に触れ合って外国を自分にとってより近い存在にすることが重要だと思います。



氏名：佐藤 有里香さん
 所属学部・研究科・学年(留学開始時)：文学部行動文化学科 3年
 留学先大学名：カリフォルニア大学デービス校
 留学プログラム名：Global Study Program(UC派遣プログラムの一部として募集します。)
 留学期間：2014年9月～2015年6月

英語が苦手な私が泥臭く挑戦し続けたアメリカ留学

勉強に集中するのに最適な温かい町デービス

将来開発学に携わるにあたって、様々な視点から物事を見られるようになりたいという思いと、その土台として自分の専門である社会学を海外で学びたいということで留学を決めました。

デービスはとても小さな大学タウンで、住人はほぼ全員UC Davisの学生か卒業生というとても安全で温かい街です。デービスは特に政治的にリベラルな街で、様々な人種や思想を持った学生が集まっており、生活しているだけで考えさせられる毎日です。また全米一の自転車タウンであり、学生はほぼ全員自転車通学をしています。私はWomen in Africaというアフリカのジェンダーについての講義、Sociology、Presentationの授業に加えて小学校でのTAのインターンをしています。アフリカ学など、日本で受けられない授業が受講できるのも留学の魅力の一つでしょう。Global Study Programのスタッフの人は本当に優しく、24時間体制で学業から

精神面まで様々なサポートをしてくれます。プログラムでのイベントも豊富なのですが、大学側が言語交換プログラムをはじめとして、留学生が現地の学生の友達を作りやすいような場を多く提供しているので、上手に使えば友達作りに困ることはありません。それに加え、私はテコンドー部やUNICEFの団体に所属して、大切な友人を得ることが出来ました。

自分に自信が無い人こそ挑戦を

もともと英語が未熟だった私にとって、留学当初は楽しいことよりも苦しいことの方が多い毎日でした。それでも刺激や新しい発見に溢れた日々は私を大きく成長させてくれ、自分の学問に対する姿勢をも変えてくれました。何より留学を経て、リスクを考える前に挑戦してみるという癖がついたように思います。私なんかが…と躊躇っている人こそぜひとも海外に踏み出してみてもはどうでしょうか。



氏名：竹子 清楓さん
 所属学部・研究科・学年(留学開始時)：農学部農業・資源経済学専修 3年
 留学先大学名：ロンドン大学クイーン・メアリー校
 留学プログラム名：Study Abroad Programme
 留学期間：2014年9月～2015年6月



ロンドンでの留学生活*勉強とミュージカルと旅行と普通の日常

バラエティ豊かな学際科目

クイーン・メアリーはロンドン大学を構成するカレッジのひとつであり、またロンドン市内にある唯一のキャンパス大学です。Study Abroad Programmeでは1学期間または1年間、医学と歯学以外なら基本的に好きな科目を学べるので、私は1学期目は地理のみ、2学期目は地理の他に神経心理学と言語学を受講しています。こちらでは学問間の垣根が低く学際的な科目が多いという印象です。

ほとんどの授業は講義の他にセミナーといって与えられた読み物についてディスカッションをする時間があります。日本の暗記中心・試験一発勝負な社会で育った私はディスカッションやエッセイに苦勞するときもありますが、そのぶん時間をかけて学習するの身についている実感があるし、興味がある科目なのでとても面白いです。

数ある選択肢のひとつとしての留学

こちらの授業時間は東大に比べると圧倒的に少なく、空き時間はボランティアをしたり友達と大学のジムにいったりヨガをしたりフラットメイトとごはんを食べに行きます。また、せっかくロンドンにいるので私は積極的に美術館やミュージカルを観に行くようにしています。大陸も近いので大学の休み期間にフランス、ドイツはもちろん、オーストリア、ハンガリーなど日本からは行きにくいヨーロッパ諸国に旅行できたのも良かったです。

現在ちょうど折り返し地点にきていますが、最近思うのは慣れてしまえば海外の大学生活も良い意味で普通です。楽しいこともあれば嫌なこともあります。世界のどこにいたって目的に向かって努力すれば有意義な生活ができると思います。それをふまえて、自分の人生、性格、価値観などについてじっくり考えてみるきっかけとして、興味があるなら思い切って留学を選択してみても良いと思います!

6. 留学の計画と準備

留学を成功させるポイント

- ① 留学の目的を明確にする

自分の専攻分野に関する知識を深めたい、専攻以外の分野を学びたい、語学力を向上させたい、国際的な広い視野を身につけたいなど、留学の目的を明確にしてください。
- ② 自分に合った留学方法を検討する

留学期間（数週間、1学期、1年、1年以上）、留学方法（3ヶ月未満のプログラム、交換留学、個人留学、卒業後の大学院留学など）を検討してください。
- ③ 留学のための情報を集める

留学プログラム、留学先の大学、留学資格、留学に要する費用、奨学金、語学試験、必要書類等の情報を集めてください。
- ④ 語学を勉強し、語学試験を受ける

留学先が定める語学試験を受け、求める基準に達する必要があります。
- ⑤ 東京大学での学業に励む

留学や奨学金の選考等においては、学業成績も考慮される場合がほとんどです。ただし、語学力・志望理由・学習（研究）計画・面接等も含め、総合的に選考されますので、積極的にチャレンジしてみてください。

留学準備計画表

記入例や右ページの留学時期のパターン（実例）を参考に、自分の計画を立ててみましょう。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生												
2年生												
3年生												
4年生												

記入例

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年生	入学	留学フェア参加	体験活動プログラムに応募		体験活動プログラムに参加			TOEFL受験	夏季短期留学説明会参加		夏季短期留学に応募	
2年生		留学フェア参加	夏季短期留学準備		夏季短期留学プログラムに参加	TOEFL受験	全学交換留学に応募	全学交換留学学内選考				協定校への申請手続きなど
3年生		留学フェア参加			サークル活動引退	全学交換留学で留学	留学	留学	留学	留学	留学	留学
4年生	留学	帰国			就職活動	就職活動						卒業

コラム:東大の学期が4ターム制に変わりました!

東京大学では平成27年度より4ターム制を導入しました。これにより、皆さんが留学等でより海外に行きやすくなるだけでなく、海外の学生も東大に来やすくなります。

タームは試験日を含む授業期間です。本学の4ターム制には、S1・S2・A1・A2タームを授業期間として冬季に長期休業期間を設けた「タイプI」と、S1・A1・A2・Wタームを授業期間として夏季に長期休業期間を設けた「タイプII」があります。どちらのタイプを採用するかは学部によって異なります。

タイプI

タイプII

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
S1	S2	休業期間	A1	A2	休業期間						
S1	休業期間		A1	A2	W	休業期間					

*1 経済学部は数年後にタイプIIに移行する予定です。

*2 工学部・理学部は、平成27年度は移行措置としてタイプIを採用します。また、理学部数学科に限り、平成28年度以降もタイプIを採用します。

上記以外にも、教育上の配慮から、学部や学科によって異なる措置をとる場合があります。

タイプI	法学部・文学部・経済学部*1・教養学部・教育学部
タイプII	医学部・工学部*2・理学部*2・農学部・薬学部

学部での全学交換留学 留学時期のパターン（実例）

【注意事項】
※ここでは、参考例としてこれまで全学交換留学で留学した学生の留学時期のパターン（実例）を数例示しています。ここで示したパターンが全てではありません。
※実際の留学の際は、所属学部の教務スケジュールや各個人の本学での単位取得状況などにより変わります。下記パターンを学生が自由に選択できる訳ではないのでご注意ください。交換留学計画段階で所属学部の担当部署で相談・確認するなど情報収集を綿密に行ってください。
※留学先で取得した単位の本学での取扱いや、外国大学との学期のずれにより東京大学の授業に一定期間出席できない場合の取扱い（留学前に何学期まで東京大学で授業を履修し、留学後に何学期から授業の履修を開始できるか）は、所属学部によって異なります。詳細は所属学部の担当部署で確認してください。
※実際の留学期間は各協定校の学年暦により異なります。協定校のウェブサイト等で確認してください。

Aさんの場合	留学期間: 約1年 (ヘルシンキ大学留学)				4年で卒業			3年・秋から留学				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			
3年生	協定校への申請		協定校受入許可		留学開始							
4年生		留学終了										卒業

Bさんの場合	留学期間: 1学期 (サンクトペテルブルク大学留学)				4年で卒業			4年・秋から留学				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			
4年生		協定校への申請	協定校受入許可		留学開始					留学終了		卒業

Cさんの場合	留学期間: 約1年 (ブリティッシュ・コロンビア大学留学)				4.5年で卒業			4年・秋から留学				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			協定校への申請
4年生			協定校受入許可		留学開始							
4年生	留学終了				卒業							

Dさんの場合	留学期間: 約1年 (清華大学留学)				5年で卒業			3年・秋から留学				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			協定校への申請
3年生				協定校受入許可		留学開始						
4年生				留学終了								
4年生												卒業

Eさんの場合	留学期間: 約1年 (シンガポール国立大学留学)				5年で卒業			4年・秋から留学				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年生						応募期間	応募期間	学内選考	学内選考			
4年生	協定校への申請		協定校受入許可		留学開始							
4年生		留学終了										卒業

Fさんの場合	留学期間: 1学期 (フィンズランド大学留学)				5年で卒業			4年・春から留学				
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4年生	応募期間	応募期間	応募期間	学内選考		協定校への申請		協定校受入許可			留学開始	
4年生			留学終了									卒業

留学等における学籍・単位認定など

留学等のため海外へ渡航する場合には、所属する部局の担当部署に事前に相談してください。東京大学での学籍上の手続き(留学願、休学願、海外渡航届など)が必要な場合がほとんどです。学籍上の取扱いによって、授業料納入の有無や単位互換の可否が異なりますので注意してください。

[海外渡航の際の主な学籍上の手続き]

- 「留学」: 留学の手続きをとる
 - 「休学」: 休学の手続きをとる
- 上記の手続きをとらず、海外渡航する場合は、海外渡航届などの手続きを行ってください。(例:夏季休業期間を利用し、海外大学に語学留学する場合など)

[海外の大学で修学する場合の、学籍上の「留学」と「休学」の違い]

「留学」の手続きによる場合と、「休学」の手続きによる場合の違いについて、右に大まかなチャートを示しますので、参考に使ってください。

外国の大学において取得した単位の取扱いに関する規則(学部学生)

《東京大学学部通則》

第3章 留学

- 留学
 - 第14条の2
- 学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が休学^{注釈1}することなく外国の大学において授業科目を履修し、単位を取得することを許可することができる。
- 2 前項の規定により外国の大学において修学する期間は、おおむね1年を限度とするものとする。

- 単位の認定
 - 第14条の3
- 学部長は、学生が留学の期間において修得した授業科目及び単位数については、前期課程においては10単位、後期課程においては30単位を超えない範囲で、本学における相当する授業科目及び単位数を修得したものとみなすことができる。

- 申請手続
 - 第14条の4
- 留学の許可及び単位の認定を受けようとする者は、所定の申請書^{注釈2}を学部長に提出しなければならない。
- 2 留学許可及び単位認定等の申請手続については、各学部の定めるところによる。

- 休学期間中に外国の大学において取得した単位の取扱い
 - 第14条の5
- 第14条の2の規定にかかわらず、学部長は、教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に外国の大学において授業科目を履修し取得した単位を、本学における相当する授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項により修得したものとみなすことができる単位数は、第14条

※交換留学の場合は、「留学」の手続きとなります。
※留学先大学で取得した単位の本学における認定については、事前に留学時の所属部局の担当部署に相談してください。
※以下は一般的な情報です。学部・研究科等により異なる場合があります。

	「留学」の手続きによる場合 (交換留学)	「留学」の手続きによる場合 (交換留学以外)	「休学」の手続きによる場合
留学先大学での「単位」取得	可	可	可
留学先大学での「学位」取得	不可	不可	場合により可
留学先大学での授業料	払わない	払う	払う
東京大学での授業料	払う	払う	払わない(ただし、休学開始時期にもよるので注意が必要)
修業年限	算入される	算入される	算入されない
本学での単位認定	可(ただし、所属学部・研究科が承認した場合)	学部・研究科により異なる	学部・研究科により異なる

の3の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて前期課程においては10単位、後期課程においては30単位を超えないものとする。

3 前2項の規定による単位認定等の申請手続については、前条の規定を準用する。

注釈
1 休学して海外修学する場合は、休学期間は在学期間には含まれないため、その分、卒業の時期が遅れることになる。なお、休学期間中に海外の大学等で単位を取得した場合の本学における単位の取扱いは、第14条の5の規定により各学部の定めによるので、教務担当窓口で確認すること。
2 「留学許可願」を担当窓口に提出する。

留学についての詳細は、留学時に在籍する学部の担当口に事前に相談し確認すること。

- ※大学院学生については以下を参照のこと。
- 東京大学大学院学則 第28条(留学)
- 東京大学大学院専門職学位課程規則 第23条(他の大学院における授業科目の履修等)



外国の大学において取得した単位の各学部・研究科の取扱い例

(2015.04.01現在)

※詳細については、各学部・研究科等の規則や、教務担当窓口で確認すること

学部

法学部

法学部において開設されている授業科目に相当する場合には、これを「相当科目」として認定する。相当科目に該当しない場合において相当と認めるときは、随意科目として認定する。なお、対象とする大学は別に定めがある。

工学部

当該学科の審査により、科目配当表の単位として認定することができる。また、それ以外の科目についても学科で必要と認めた場合には、卒業単位に算入することができる。

文学部

原則として、交流協定のある大学に限る。学生は専修課程に単位の認定希望を伝え、専修課程が認定されよと判断すれば、認定する科目・単位数を明記して、専修課程から教務委員会に単位認定のための申請がなされ、適切と認められる場合は認定される。ただし、必修科目以外の「その他の文学部の単位」として認定される。

理学部

シラバス、成績等により審査をおこない、東京大学理学部規則別表に定める授業科目及び単位数に振り替えることができる。また、選択科目として、卒業に必要な単位数に含めることができる。

農学部

留学先大学の成績証明書、時間割およびシラバスを指導教員又は学部委員に提出し単位認定を申請した場合、認めることがある。

経済学部

単位の認定・振替は、学生交流協定に基づき「留学」の身分により派遣された場合に限る。学部教務委員会・学部教授会で適切と判断された場合、本学部の基準で単位数を換算の上、単位の振替・認定が認められる。学則・内規に沿って運用をしているので、単位の認定・振替を希望する者は、留学生・国際交流担当チームに事前に相談に来ること。

教養学部(前期課程)

外国の大学で取得した単位の扱いについては必ず事前に教務課前期課程係(PEAK生は国際化推進係)で説明を受けること。

教養学部(後期課程)

協定締結校に留学等をして取得した単位については、所定の期間内に単位認定を申請した場合、定められた上限単位数まで卒業単位として認定を受けることができる。詳細については「教養学部便覧」を参照のこと。

教育学部

原則として、全学学生交流に基づく交換留学協定校等、本学からの推薦に基づく派遣先大学に

限る。選択科目の単位として一括して認定することができる。

薬学部

単位認定を希望する者は、事前に国際交流室に相談すること。

大学院

法政治学系研究科

〈総合法政専攻〉においては、学生が留学先大学で単位を取得した科目の認定には、学生からの単位認定申請にもとづき、学務委員会で判断する。なお、休学中に外国の大学院において取得した単位についても、認定することは可能である。

医学系研究科

外国の大学院等で修得した単位の認定は、休学(休学理由が「海外の教育・研究施設において修学」の場合に限り)および留学の場合に、修士課程及び博士課程を通じて10単位を超えない範囲で、研究科として認定の可否を行うので、医学部大学院係へ相談すること。

工学系研究科

外国の大学院に「留学」して、当該大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し、修得した単位は、申請により、本研究科における相当する科目・単位として、修士及び博士後期課程を通じて10単位まで認定される。留学先大学で修得した単位は、当該大学院の履修時間及び採点基準を考慮して、本学の基準で単位数及び成績の換算をする(そのまま本研究科と同じ単位数として換算されとは限らない)。※休学して外国の大学院に「修学」した時の、当該大学院で修得した単位は、本研究科修士単位には認定されない。

人文社会系研究科

外国の大学の大学院において修得した科目及び単位は、修士課程及び博士後期課程を通して10単位を限度として、自由選択科目の単位に算入することができる。※休学して外国の大学の大学院に「修学」し、当該大学院で修得した単位については、本研究科修士単位には認定しない。

理学系研究科

外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を取得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、10単位を超えない範囲で本研究科において単位を認定することができる。希望者は、渡航前に専攻事務室で手続に関する指示を受けること。

農学生命科学研究科

留学先大学の成績証明証、時間割およびシラバス等を指導教員に提出し単位認定を申請した場合、認めることができる。

経済学研究科

単位の認定・振替は、学生交流協定に基づき「留

学」の身分により派遣された場合に限る。教育会議にて適切と判断された場合、本学部の基準で単位数を換算の上、単位の振替・認定が認められる。学則・内規に沿って運用をしているので、単位の認定・振替を希望する者は、留学生・国際交流担当チームに事前に相談に来ること。

総合文化研究科

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において取得した単位は、10単位を超えない範囲で本研究科の授業科目及び単位として認定することができる。単位の認定を希望する場合は、留学又は休学期間終了後に総合文化大学院係で必要な手続きをとること。授業科目及び単位の認定は、認定希望者からの申請を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。なお、本研究科の授業科目及び単位の認定の申請ができる休学の理由は、原則として海外修学のみとする。

教育学研究科

教育上有益と認めるときは、研究科教育会議の議を経て、学生が休学することなく外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し、単位を取得することを許可することができる。外国の大学の大学院において修得した授業科目・単位の換算及び評点等は当該コースで認定し、研究科教育会議の議を経て、承認を得るものとする。ただし、認定できる単位数は、修士・博士課程を通じて10単位を超えないものとする。

薬学系研究科

単位認定を希望する者は、事前に国際交流室に相談すること。

新領域創成科学研究科

外国の大学院等で修得した単位の認定は、休学(休学理由が「海外の教育・研究施設において修学」の場合に限り)および留学の場合に、修士課程及び博士後期課程を通じて10単位を超えない範囲で、研究科として認定の可否を行うので、新領域創成科学研究科教務係へ相談すること。

情報理工学系研究科

当該専攻の審査により、10単位を限度として修了単位に認定することができる。

学際情報学府

留学又は休学期間中に外国の大学の大学院において修得した科目及び単位は、本学府の承認を得ることにより、修士課程及び博士課程を通じて、10単位を超えない範囲で、他研究科科目の単位として、認定することができる。単位認定を希望する者は、事前に学務係に相談すること。

公共政策学教育部

公共政策学教育部において、教育上必要と定める時は、他の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、修了要件として定める単位数の2分の1を超えない範囲内で認定することができる。

留学にかかる費用

留学一般について

留学には、国・地域によりますが、一般的に学費・生活費等でおよそ年間200～300万円以上の費用がかかります。高額に思えるかもしれませんが、留学しなくても学費・生活費はかかります。留学しなかった場合の学費・生活費と比較して検討してください。

留学のための奨学金が各種ありますので、情報を集めて利用しましょう。奨学金については36ページをご覧ください。奨学金の選考では成績が考慮される場合が多いため、奨学金の利用を考えている学生は、当然のことながら東京大学での学業にも真剣に取り組むことが大切です。

多くの国で、アルバイトはビザの制限により原則として禁止されています。現地でアルバイトに頼る生活にならないよう、早めに資金の計画を立てることが必要です。

東京大学を通じて申し込むことによるメリット

交換留学の場合は、原則として留学先に授業料を納める必要はなく、東京大学の授業料を東京大学に納めることになります。



英語能力試験

留学する場合、留学先大学が求める語学能力の基準を満たす必要があります。語学能力試験は、状況により、受験の予約が取りにくかったりする場合があります。また、新規の留学プログラムの募集の場合、募集開始から締切までの期間が非常に短い場合もあります。締切日までにスコアを取得できない学生が例年見受けられますので、留学を考えている場合は早めに受験し、常に有効期限を満たすスコアを所持しておくようにしましょう。

	TOEFL iBT	IELTS (Academic Module)
概要	米国を始め世界各国の大学等で英語力の証明として利用されており、130 を超える国々の 9,000 以上の大学、機関、その他の団体が TOEFL テストスコアを受け付けている。	英国、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほとんどの教育機関で受け入れられており、米国でも広がっている。Academic Module (大学や他の高等教育機関への出願のためのテスト)とGeneral Training Module (一般的な生活、仕事や、移住関係に関わる英語のテスト)の2種類がある。 ※2014年4月より、英国ビザ申請にIELTSスコアが必須となりました。(TOEFL、TOEICは利用不可となりました。)学生ビザが必要となる英国留学を考えている学生は、余裕をもってIELTSの受験をすることをおすすめします。
スコア	0～120 (1ポイント刻み)	1.0～9.0 (0.5ポイント刻み)
試験日	ほぼ毎週末、年間50回以上	東京は毎月3回程度実施
受験料	US \$230 (締切日によって受験料が異なる。)	25,380円

交換留学以外でも、東京大学を通じて申し込むプログラムでは、プログラムの実施機関から東京大学の学生向けの費用の割引や免除、参加費補助が受けられるケースがあります。適切に情報を集めれば、経済的負担を減らして留学することが可能です。

交換留学や3ヶ月未満の留学プログラムなど、東京大学を通じて申し込むプログラムに参加する学生には、東京大学・その他支援団体等からの奨学金を支給する可能性があります。奨学金支給の有無や金額は、奨学金支給団体が定める条件(成績・家計基準等)や参加費用、使用可能な財源等を勘案の上、決定されます。詳しくは各プログラムの募集要項を参照してください。

実際の留学費用

実際の留学費用は、プログラムや学生の奨学金受給状況により異なります。ウェブサイトに記載されている詳細な留学体験記(47ページ参照)では、各学生の実際に留学に要した費用が報告されていますので参考にしてください。中には奨学金等を利用し、ほぼ自己負担額なしで留学を実現した学生もいます。

7. 学内でできる国際体験

東京大学では100以上の国と地域出身の約3,000名の留学生が学んでいます。キャンパス内でも国際体験ができる機会が数多くありますので、留学の準備や国際交流の機会として活用しましょう。以下に一例を紹介します。

IARU Global Summer Program東京大学開講コース

東京大学は、例年7月頃、IARU Global Summer Programにより、世界のトップレベル9大学の学生を受け入れる英語プログラムを実施しています。

以下の東京大学において開催されるコースは、学部3年生以上の本学学生は集中講義として通常の授業と同様に受講可能となる予定です。(教養学部前期課程の学生は履修できません。)海外大学の学生も東大生との交流を希望しており、また英語での授業のため留学の準備としても効果的です。

- ・Sustainable Urban Management (工学部開講)
- ・Nanoscience (工学部開講)
- ・Japan in Today's World (法学部開講)

※開講時期・内容については授業カタログを参照のうえ、参加を希望する場合は履修登録時に履修手続を行ってください。他学部聴講となる場合は、所属学部・研究科の規則により履修可能かどうか確認してください。

スペシャル・イングリッシュ・レッスン (SEL)

「スペシャル・イングリッシュ・レッスン (SEL)」は、英会話に慣れたい、英語力を向上させたいという学生向けのプログラムで、東大生であればどなたでも受講可能です。日常会話、プレゼンテーション、ディスカッション、TOEFL対策等さまざまなコースがレベル別に提供され、比較的低価格で受講できます。

外部英語学校から経験豊かなネイティブ・スピーカー (TOEFL講座は一部日本人講師) を招き、毎年春と秋に10週間ずつ本郷キャンパスで開講します。みなさんも週1-2回、集中して英語に取り組んでみませんか。

<http://www.sel-ut.com>

国際センターによる国際交流活動の例

東京大学国際センター各オフィスでは、さまざまな国際交流活動を実施しています。

- (1) 国際センター本郷オフィス:
http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/ic/index_j.html

留学生との交流を目的としてFACE (Friendship And Cultural Exchange) プログラム、中国語茶話会、言語交換プログラムなどを実施しています。また、国際交流を目的としたキャンパス内の学生活動の情報提供等も行っています。詳細は以下でご確認ください。

http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/ic/face/face02_info02_j.html

- (2) 国際センター駒場オフィス:
<http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp>

留学生との交流イベントを実施しています。また、駒場Ⅱキャンパス

においては、国際交流を目的としたInternational Gathering を毎週開催しています。

- (3) 国際センター柏オフィス:
<http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/>

- 1対1交流プログラム
柏キャンパスで学ぶ留学生、研究等で招聘された外国人研究者およびその家族と、日本人ボランティアが1対1で交流するためのプログラムを実施しています。基本的に日本語での会話を通し、日本語の上達、日本の文化・歴史を知ること等を目的としたものです。詳細は以下でご確認ください。

<http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/event/onetoone.html>

- 英語講座
大学院生及び職員を対象に、平日に柏キャンパス内の教室を利用して英語講座を開講しています。英会話講座、科学技術英語講座の他にTOEFL集中講座やテクニカルライティングセミナーも受講できます。詳細は以下でご確認ください。

<http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/kashiwa/language/englishlecture.html>

グローバリゼーションオフィス
(総合文化研究科・教養学部)

グローバリゼーションオフィスは、駒場Ⅰキャンパスにおいて、大使館員や外国人数員による各国事情のレクチャー及び留学生とディスカッションしながら学ぶセミナー等を開催しています。また、併設のラウンジ(21 KOMCEE West地下)は、留学生と多言語で交流できる場となっています。
<http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp>



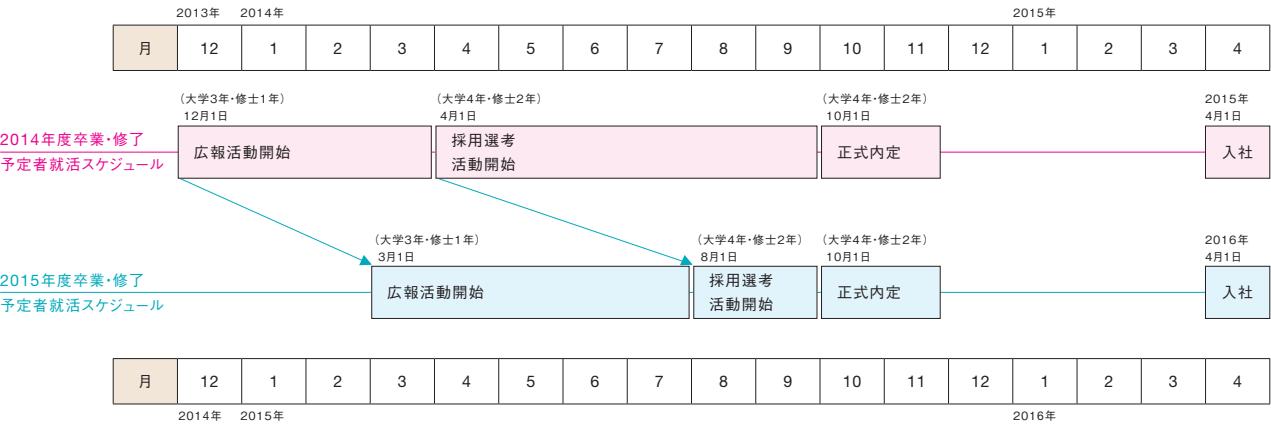
8. 留学と就職活動

留学を考える際に、就職活動のことが気になる学生も多いかと思います。留学経験があるということだけで就職活動で高く評価される時代ではありませんが、「留学を就職活動にプラスに活かす」ことはもちろんできます。留学は自分を見つめ直すよい機会でもあります。帰国後就職活動であわてないために、参考にしてください。

就職活動のスケジュールはどうなるの？

2016年(2015年度)以降に卒業・修了となる学生から就職活動の時期が変更になります。(下記の図参照)

学部3年(修士1年)の3月から会社説明会などが解禁となり企業の採用情報が公開となります。学部4年(修士2年)の8月から面接などの選考が開始されますが、エントリーシートやWebテスト選考は8月前から実施可能となっています。外資系やコンサルタントなど独自のスケジュールで採用選考を行う企業もありますので注意が必要です。企業の採用スケジュールとともに、留学先や留学・卒業の時期などそれぞれの事情にあわせて、ご自身の就職活動を考えてみましょう。



留学をプラスに・・・

何を目的として留学するのでしょうか。短期間の語学留学、単位取得の交換留学、学位取得を目的とした留学……。留学の目的を達成することは言うまでもありませんが、何回も経験出来ることではありませんので、留学生生活を大切に、友達を作り、毎日を楽しみ、日本では出来ないことをたくさん経験してください。

でも「楽しかった」だけで終わらせないでください。そこから学んだこと、考えたこと、その結果、どう行動に移したかなどを書きとめて成長していく自分の記録を残してみましょう。その中で、やりたいことが見つけられるかもしれません。やりたいことにたどり着かなくとも、留学前と留学後でどのように成長したかを表現することで、就職活動に活かすことができるでしょう。留学経験がある場合、企業から「なぜ留学したのか、留学を通じて何を得たか」は必ずといっていいほど聞かれる質問です。留学中もこの問いを時々意識することで結果は変わってくるでしょう。

留学中の就職活動はどうなるの？

まずは、就職活動に関する情報収集をしましょう。

海外留学を経験した学生向けの就職情報サイトも充実しています。資料請求もサイトからできるので、必要にあわせて登録をしておきましょう。

多くの企業がWebサイト上に採用情報を公開しています。海外にいながらエントリーはもちろん、選考まで進める企業もありますし、場合によっては留学中の状況を考慮して選考してくれる企業もあります。行きたい企業が見つかったらコンタクトを取ってみてください。また、採用時期にこだわらず、通年で採用している企業も増えてきています。いずれにせよ、年度によって企業の状況は変わりますので、先輩や友達の話をつまみこみせず、かならず企業の情報は自分で確認してください。

日英バイリンガルのための就職イベント(キャリアフォーラム)もボストン、ロンドン、ロサンゼルス、シドニー、ニューヨークで開催されています。日本企業も多数参加していますので、留学先によっては参考にしてください。

留学前に大学の窓口を利用しましょう

大学の留学フェアを利用して先輩や留学担当の方などから話をたくさん聞き、より多くの情報を収集しましょう。また、本郷のキャリアサポート室では就職活動のスケジュールをはじめ、留学か進学か迷ったときや、企業分析や自己理解などの相談に専門のキャリアアドバイザーが個別にお応えします。先輩の進路情報もありますので、利用してください。

キャリア相談は予約優先ですので、キャリアサポート室のサイトからお申し込みください。

東京大学 キャリアサポート室
www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/

9. 大学院留学

ここまで、交換留学、3ヶ月未満の留学、個人応募のプログラムといった、東京大学在学中の留学について紹介してきました。東京大学では現在、主に在学中の留学をサポートしていますが、卒業後の海外の大学院への留学についても様々な形で情報提供などを行っています。

海外の大学院の種類

海外の大学院には大きく分けてGraduate Schoolと、Professional Schoolの二つの種類があります。Graduate Schoolでは、東京大学在学中に学んだ学術研究をより専門的に深めることができます。一方、Law SchoolやBusiness Schoolに代表されるProfessional Schoolでは、職業に直結した教育を受けることができます。

大学院のシステム

世界各国で教育システムが異なるように、海外の大学院のシステムは日本とは異なることが多いので十分な情報収集が必要です。

大学院レベルで提供される学位は、修士号(Master's Degree)と博士号(Doctoral Degree or Ph.D.)があります。

修士課程は、通常1～2年間の課程です。大きく分けると「アメリカ型」と「イギリス型」に分けられ、その主な特徴は以下の通りです。

アメリカ型: 入学時期は8月末～9月が一般的。修了までに基本的には2年を要す。ほとんどの大学が2学期制を採用。

イギリス型: 入学時期は9月～10月が一般的。通常1年で修了することができる。ほとんどの大学が3学期制を採用。

博士課程は、通常3～8年間の課程です。プログラムによっては、大学の学部課程を修了後、修士課程を経ず、直接博士課程に出願することも可能です。

大学院留学の情報収集

留学先の国や大学によって制度が異なる場合が多く、学士課程時の専攻と異なる分野での留学も可能なため、事前の情報収集が重要です。東京大学では、以下の方法で情報を入手することができます。

Asian Future Leaders Scholarship Program (AFLSP)

アジアの若者の学生交流を促進し、将来のアジアの指導者となる人材を育成するために、本学卒業生であるRonald Chao(曹其鏞)氏(1962年工学部卒)により設立されたプログラムです。参加学生に期待されていることは、留学で得た専門知識はもちろんのこと、異文化体験とともに学んだ同窓生など、プログラムで得たものを糧に、将来、異なる文化間の架け橋となることです。本学で対象となるのは、中国・台湾・韓国の各大学(下表参照)の大学院正規課程へ進学する学生。奨学金支給期間は原則として2年間までで、授業料、宿泊費、滞在費等が支給されます。奨学生は約4週間のサマープログラムへの参加が義務づけられます。希望する学生は、各大学および奨学金財団へ直接応募する必要があります。詳細はウェブサイトをご参照ください。http://bxbai.org/

大学名	対象学部・学位		奨学金支給期間
北京大学	燕京学堂(Yenching Academy)	修士	1年間
浙江大学	大学院公共管理学院	修士	2年間
香港科技大学	大学院 M philプログラム	修士	2年間
清華大学、上海交通大学、国立台湾大学	全大学院	修士 博士	2年間
香港中文大学、ソウル国立大学校	全大学院	修士	2年間

●東京大学Go Globalウェブサイト

「留学プログラム」のページの一覧表で、東京大学宛に案内のあった大学院留学プログラムを随時紹介しています。(以下の表参照)また、「海外留学等奨学金」のページで奨学金に関する情報も提供しています。(P36参照)

●説明会等の大学院留学関係イベント

東京大学Go GlobalウェブサイトやSNS(P47参照)で、海外大学や各国大使館などが主催する説明会等、大学院留学関係のイベントを紹介しています。東京大学と関係の深い大学については東京大学で説明会が行われる場合もあります。

●UT-OSAC

東京大学の卒業生を中心とした団体である、UT-OSAC (Overseas Study Advisory Community, the University of Tokyo)では、海外大学院留学に関する情報提供や説明会等の開催、およびそのサポートを行っています。

UT-OSACウェブサイト: www.ut-osac.org/index.html

[海外大学院留学説明会主催者から](#)

原健太郎：2010年工学系航空宇宙工学科修士 ミシガン大学航空宇宙工学専攻在籍中

学部卒業後に、就職・国内の大学院進学に加えて、「海外の大学院進学」という選択肢を増やしてみませんか?修士・博士課程への長期留学(2～5年)に関する情報は、短期留学プログラムに比べ、未だに手に入れにくいのが現状です。私たちUT-OSACは、東京大学の現役生・卒業生に向けて、海外にいくことが善であるということではなく、キャリア・人生を考える上で一つの選択肢として海外大学院進学に関する情報を提供していくことを目指しています。年2回(夏・冬)の説明会には、100～400名の情熱のある学生・社会人の方々が参加しています。



10. 海外留学等奨学金

留学や海外活動、特に欧米や長期での海外滞在には高額な費用がかかります。留学・海外活動の期間や目的などによって対象が異なる様々な奨学金があります。各自の留学・海外活動の内容に沿った奨学金に応募し支援を受けることが可能です。

奨学金の種類

まず留学・海外活動の期間によって、概ね3ヶ月以上、3ヶ月未満と奨学金支給の対象が分かれています。さらに奨学金によっては交換留学、学位取得、その他（インターンシップ、ボランティア等）などその種類や目的を限定している場合があるので注意しましょう。

また東京大学独自の奨学金だけでなく、外部団体が公募する奨学金にも応募が可能です。外部団体の奨学金には、東京大学を通じて応募するものと、個人で直接応募するものとがあります。

期間	種類・目的	応募方法
✓3ヶ月以上	✓学位取得を目的としない留学（交換留学、Visiting student programなど）	✓東京大学への応募（東京大学独自の奨学金）
✓3ヶ月未満	✓3ヶ月未満の留学（サマープログラムなど）	✓東京大学を通じた外部団体への応募
	✓学位取得を目的とした大学院留学	✓外部団体への直接応募
	✓その他の海外体験（インターンシップ・ボランティアなど）	

奨学金の例

留学一般について

留学する場合は、東京大学独自の奨学金および外部団体の奨学金へ応募することができます。東京大学は「東京大学海外派遣奨学事業 海外留学等奨学金」を設け、学生の留学・海外活動を支援しています。留学の期間により、短期（3ヶ月以上1年以内）または超短期（3ヶ月未満）の留学を対象とした奨学金に応募が可能です。

東京大学を通じて応募するプログラムに参加する場合

交換留学や3ヶ月未満の留学プログラムなど、東京大学を通じて申し込むプログラムに参加する学生には、東京大学・その他支援団体等からの奨学金を支給する可能性があります。奨学金支給の有無や金額は、奨学金支給団体が定める条件（成績・家計基準等）や参加費用、使用可能な財源等を勘案の上、決定されます。

さらに、夏季短期留学については「奨学金付き夏季短期留学プログラム」として奨学金の支給を前提としたプログラム参加者募集を行っており（P18参照）、海外有力大学の各種プログラムへ東京大学からの奨学金を得て参加することが可能となっています。

学位取得のため留学する場合

例えば2年間にわたり修士の学位を取得するために留学する場合などは、日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（大学院学位取得型）ほか様々な外部団体が公募している奨学金に応募できます。

奨学金の探し方

東京大学および外部団体からの主な奨学金の公募情報は、東京大学Go Globalウェブサイト（P47参照）にて随時更新しています。期間・種類別に一覧で掲載していますので自分の留学・海外活動の内容と照らし合わせて探してみましょう。

奨学金の応募締切は留学開始の半年ほど前に設定されていることがほとんどです。留学や海外活動を考え始めたら、早めに奨学金についても情報収集すると良いでしょう。

また、「他奨学金の併給を認めない」とする奨学金もあるので、併願する際は十分注意してください。

Pick Up!

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～



●趣旨

本制度は、海外での「異文化体験」や「実践活動」を焦点にした留学を推奨することにより、学生時代により多様な経験と、自ら考え行動できるような体験の機会を提供します。そのため、諸外国の大学等といった教育機関での留学だけでなく、企業でのインターンシップや学生が立案した多様なプロジェクト等の留学を支援し、個性あふれる多様な留学生のネットワークを形成し、自らの経験を新しい留学文化の醸成に還元してもらうことを目的としています。

●概要

本制度は、我が国の大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）に在籍する日本人学生等に対し、諸外国への留学に必要な経費の一部を奨学金等として支給するとともに、留学経験の質を高めるため、留学の前後に行う研修の提供、及び留学後の継続的な学習や交流の場としての留学生のネットワークの提供を行います。

●支援の対象

支援の対象とする留学の内容（申請コース）は、以下のとおりです。
①自然科学系、複合・融合系人材コース
②新興国コース
③世界トップレベル大学等コース
④多様性人材コース

●支援の内容（概要）

1)奨学金月額:12万円～20万円（留学先の地域等により異なる）
2)留学準備金：
①事前・事後研修参加費（事前・事後研修参加のための国内旅費の一部）
②往復渡航費の一部（本制度による留学のための渡航・帰国のための旅費の一部）
アジア地域 10万円、左記以外の地域 20万円
3)授業料：
留学先機関における授業料相当額（学費・登録料）
①1年以内の留学 上限300,000 円
②1年を超える留学 上限600,000 円

主な海外留学等奨学金一覧

注）・支援内容は変更されることもあるので、最新情報は東京大学Go Globalウェブサイトを確認すること。

- ・※1は東京大学独自の奨学金。
- ・※2は支援期間が1ヶ月～2年の奨学金のため、以下の3ヶ月～1年以上と3ヶ月未満の両欄に掲載している。
- ・申請先欄が所属部局となっている奨学金は、東京大学による推薦や取りまとめが必要とされるもの。申請方法や締切については各自所属部局窓口へ問い合わせること。
- ・諸外国の政府または政府関係団体による、その国/地域の大学などへ留学する日本人を対象にした奨学金制度については日本学生支援機構のページを参照のこと。
- ・下記の他、特定の地域在住者対象の奨学金等もあるので、東京大学Go Globalウェブサイトを確認すること。

3ヶ月～1年以上・学位取得を目的としない留学が対象の奨学金（交換留学・Visiting student programなど）

奨学金・プログラム名	支援期間	金額・対象	申請先
※1東京大学海外派遣奨学事業 短期（3ヶ月以上1年以内）海外留学等奨学金	3ヶ月～1年	月額6万円～10万円	所属部局
※2官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～	1ヶ月～2年	月額12万円～20万円、渡航費10～20万円、学費等	所属部局
（公財）KDDI財団 日本人海外留学生 助成プログラム	1年	年額300万円（一時金）	所属部局
（公財）経団連国際教育交流財団 産業リーダー人材育成奨学金奨学生	1年または2年	授業料、生活費、教材費、渡航費等として年間450万円を一律支給	所属部局
（公財）経団連国際教育交流財団 日本人大学院生奨学生	1年または2年	授業料、生活費、教材費、渡航費等として年間350万円を一律支給	所属部局
公益信託ヤマハ発動機国際友好基金 海外派遣日本人留学生	1年以内	月額10万円	所属部局
（公財）佐藤陽国際奨学財団 派遣留学奨学生	6ヶ月～1年	月額8万円、渡航費25万円、交換留学一時金10万円	所属部局
（公財）業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生	1年以内	月額15万円	所属部局
TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム	1年	150万円	所属部局
（公財）経団連国際教育交流財団 経団連グローバル人材育成スカラーシップ奨学生	8ヶ月以上1年未満 理工系は6ヵ月以上1年未満	100万円	直接応募
（独）日本学生支援機構第二種奨学金（短期留学）〈有利子貸与〉	3ヶ月～1年	月額3万円～15万円	本部奨学厚生課

3ヶ月未満の留学への奨学金

奨学金・プログラム名	期間	金額・対象	申請先
※1東京大学海外派遣奨学事業 超短期（3ヶ月未満）海外留学等奨学金	3ヶ月未満	月額6万円～10万円	所属部局
※2官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～	1ヶ月～2年	月額12万円～20万円、渡航費10～20万円、学費等	所属部局
カナダ大使館日加リーダーシップ基金 語学留学奨励金	指定なし	10万円 カナダ語学留学	直接応募
Friends of UTokyo, Inc. 米国の大学での夏季プログラムに参加する日本学生への奨学金	夏季の数週間	3,000米ドル～4,000米ドル アメリカの大学での夏季プログラム等	直接応募

留学以外の海外活動への奨学金

奨学金・プログラム名	期間	金額・対象	申請先
（公財）交流協会 若手研究者交流事業（科学技術） （A）個人派遣（長期）（B）グループ派遣（短期）	（A）2ヶ月間 （B）1週間	往復航空券、交通費、滞在費、海外旅行保険 科学技術分野での台湾派遣、大学院生対象	直接応募
（公財）NEC C&C財団 国際会議論文発表者助成事業	国際会議期間中	12～25万円（開催地等により異なる） 情報処理技術分野での国際会議論文発表、大学院生対象	直接応募
（社）日米協会 米国研究助成プログラム	短期（ただし1週間以上滞在）	航空費、滞在費、研究費の一部として2,800米ドル以内 米国研究活動、大学院生対象	直接応募
富士ゼロックス株式会社 小林節太郎記念基金 小林フェロロシップ	1年間	最高120万円 アジア・大洋州諸国・地域研究活動、博士課程学生対象	直接応募

学位取得を目的とした大学院留学が対象の奨学金

奨学金・プログラム名	期間	金額・対象	申請先
（公財）吉田育英会 日本人派遣留学プログラム	2年以内（審査のうえ1年以内の延長あり）	学校納付金合計250万円以内、生活滞在費月額20万円、扶養補助（該当者のみ）、往復渡航費	所属部局
（公財）竹中育英会 海外留学奨学生	修士2年以内 博士5年以内	大学納付金250万円以内、滞在費・渡航費等年額200万円以内	所属部局
（独）日本学生支援機構 海外留学支援制度（大学院学位取得型）（大学とりまとめ応募）	修士2年以内 博士3年以内	月額8.9万円～14.8万円、授業料	所属部局
（公財）平和中島財団 日本人留学生奨学生	2年以内	月額15万円～20万円、往復渡航費	直接応募
（公財）中島記念国際交流財団 日本人海外留学奨学生	修士課程：最長2年 博士課程：最長5年	奨学金月額20万円、往復渡航費、支度金20万円、授業料（留学当初の2年間、年間300万円以内）	直接応募
（公財）伊藤国際教育交流財団 日本人奨学生	原則2年以内	生活費月額1,500～2,000米ドル、学費（年間300万円以内）、往復旅費	直接応募
（公財）二十一世紀文化芸術財団 海外留学助成金	原則2年以内	授業料2年分、研究活動費180万円 博士課程進学予定者対象	直接応募
（公財）本庄国際奨学財団 海外留学日本大大学院生奨学金	1～5年（学位取得までの最長年限）	月額15万円～20万円	直接応募
日米教育委員会 フルブライト奨学生 大学院留学プログラム	原則1年	往復渡航費、生活費、授業料等、基本的に全額支給 アメリカ留学	直接応募
オーストラリア政府奨学金 エンデバー大学院奨学金	修士2年以内 博士4年以内	118,500豪ドル～228,500豪ドル オーストラリア留学	直接応募
カナダ大使館日加リーダーシップ基金 高等教育機関奨学金	1年以上	100万円 カナダ留学	直接応募
フランス政府給費留学生	10ヶ月～1年	滞在費月額615～1,704ユーロ、社会保険料等 フランス留学	直接応募
（独）日本学生支援機構第二種奨学金（海外）〈有利子貸与〉	学位取得の標準修業年数以内	月額3万円～15万円	本部奨学厚生課

page 36

page 37

特集コラム：卒業生・社会が東大生のGo Globalを支援しています

グローバルに活躍する人材の輩出を目指し東大生の留学・海外活動を推進する東京大学の取組みには、卒業生を始めとする社会から広く賛同を頂いています。そうした方々からの貴重なご寄付が充てられた奨学金も増えています。ここでは、支援者からのメッセージを紹介します。また、寄附奨学金プロジェクトの先輩奨学生からの声も合わせて紹介します。

奨学金寄附者からのメッセージ

知恵の創造に終わらない。そのひとつのキーワードが、「Go Global!」

長島 雅則氏 株式会社インフォマティクス 取締役会長

日本が高度経済成長に向かってひた進んでいた時代、これから伸びゆく分野を専門に選ぼうと考えていた私は建築学科へ進学しました。ちょうど建築設計にコンピュータを利用するCADが世に出た頃で、このシステムは必ず建築の仕事を変えと確信し、修士の時にコンピュータの先進国であるアメリカにあるマサチューセッツ工科大学 (MIT) への留学を決意しました。1974年の渡米の日、研究室の先輩や同僚達が大学して見送りに来てくれたことがとても嬉しかったですね。インターネットのない時代、渡米してから情報入手が困難で苦労しましたが、ニコラス・ネグロポンテ教授(後にMITメディアラボを創設)に出会い、教授の下でCADの研究と論文執筆に専念できました。そして、そこでの研究が私の起業への端緒となりました。

当時は欧米の方が進んでいた学問分野がたくさんあったように思いますが、現在は日本が先端を走る研究分野もありますし、インターネットの進化によって世界を結ぶ情報伝達インフラが整った今、外に出て学ぶ意味と意義は当時と比べて薄まったのかもしれませんが。ただ島国の日本はもともと型にはまりやすい同質社会。外に出たがらない人が増えていくと、型破りのイノベーターが生まれにくい国になります。私はそこに危機感を覚えるのです。

海外での異文化で感じる「!?」に対処する日々は、自ら考え答えを導き出すための貴重な訓練となりました。本当に得難い経験をさせてもらったと思っています。しかし、そもそも海外に向かう志向の種を育んでくれたのは、東大で学んだ6年間であり、先生や学友たちとの対話でした。

そんな東大への恩返しの気持ちで寄附をさせていただきましただき、東大生の海外派遣と留学生を支援しています。すでに4期の奨学生を輩出し、これまで海外留学等をする44名の学生へ奨学金が支給されています(※外国人留学生には別途40名に支給)。奨学生たちと交流できる機会に毎年参加していますが、皆とても元気だし、いい目をしている。これからもそんな学生を増やすための一助となれば嬉しいです。

どんなことでもいい、まずは「これをやりたい!」という興味の種を見つけること。そして、その本質を知りたい、見極めたいという好奇心を持つことが大事です。心から知りたいものが見つかれば、そのヒントが国内にあるのであれ海外にあるのであれ、前を向いてがむしゃらに進んでいけばいい。本質や真理に近づくための、知恵の創造に終わりはありません。そのひとつのキーワードが、「Go Global!」だと思うのです。

※インタビュー全文はこちらで読めます。
東京大学基金ホームページ
<http://utf.u-tokyo.ac.jp/interview/15.html>



長島 雅則氏
株式会社インフォマティクス 取締役会長
1972年工学部卒業。1974年修士課程修了後、マサチューセッツ工科大学 (MIT) 大学院に留学。
1981年に同社を創業。

長島雅則奨学金奨学生からの声

若澤佑典
長島雅則奨学金第3期奨学生
総合文化研究科
言語情報科学専攻博士課程(当時)

私は東京大学の派遣留学制度を活用し、2012年9月からニューヨーク大学で研究に従事しました。当初は一年間の留学予定でしたが、現地の研究教育に衝撃を受け、派遣期間の延長を決意しました。留学二年次に長島奨学金のお世話になりました。私の専攻領域は英文学および哲学です。「共感」をキーワードとして、文学が持つ社会的構想力について研究しています。イギリスが研究対象であるにもかかわらず、留学先がアメリカであることを不思議に思われるかもしれませんが、イギリス文化を「外から見る」という視点が重要であり、ニューヨークではこれが強く意識されています。現地の演習授業や研究交流の場では、人種・年齢・性別など実に多様な院生が集まります。イギリス文化が他の文化と遭遇し、その出会いを経て変容していくこと、こうした多文化の中で英文学や哲学書を読む体験こそ、ニューヨークで研究をする醍醐味です。

渡米前の奨学生交流会も、長島雅則さんをはじめとして、他分野の研究に従事する院生、留学先での生活に期待を膨らませる学部生、奨学金プログラムの運営担当の職員の方々など、普段は出会う機会のない人々が集う、貴重な場となりました。特に長島さんが、自身の専攻された建築学を事例として、異分野をつなげる「場」の重要性について語っていたのが記憶に残っています。私も自身の研究を通じて、異文化が遭遇する場の創出に寄与できればと考えています。

東大生海外体験プロジェクト

代表発起人からのメッセージ

「東大生海外体験プロジェクト」は、中間層の学部学生にも早い段階で海外企業体験やサマープログラムの経験を積んでもらおうと、各界で活躍する8人の卒業生(以下のお二人のほか、三谷宏幸さん、吉田正樹さん、浅尾慶一郎さん、中居英治さん、山田善久さん、古川聡さん)が発起人となって発足した寄附プロジェクトです。2014年度から年間40〜60名、5年で計300名程度の学部学生を海外に送り出す予定です。(P18参照)

藤森氏:アメリカの大学と比べると、東大では卒業生の母校への愛着と支援が足りないと感じていたところに、東大生の海外体験をサポートしてもらえないかという話があり、「これだ!」と思って他の卒業生たちに声をかけてプロジェクトを立ち上げました。

森氏:私は、大学ランキングなどで東大の地位が世界的に落ちていることに危機感を持っていたことから、趣旨に賛同して発起人に加わりました。

藤森氏:私は27歳で渡米しMBA取得しました。それから日本で5年間働いた後、再度アメリカに渡りましたが、27歳では遅かったと痛感しました。英語で口に出るまでにどうしても時間がかかるのです。渡米が十代のうちだったら事情は違っていたかもしれません。その実体験から、若いうちに海外を体験することは重要だと思っています。それが、自分の殻、コンフォートゾーンから出るきっかけになるはずです。

森氏:「とにかく一度海外を見てこい」と言いたいですね。日本で同じ価値観の中に浸っているのはコンフォートゾーンから抜け

出すことは難しい。大事なのは、若いうちに海外を体験して多様な価値観を知ることです。

藤森氏:「世の中にはこんな違った世界があるのか」というショックや感動を体験してきてほしい。海外には文化や考え方が全く違う人間がいる。異質なものに触れることによるショックと感動が重要。そうした体験は、単なる海外旅行ではできません。

森氏:グローバル人材にまず必要なのは異なる考え方に耳を傾けるという許容力。自分の頭で考え、その考えに基づいて行動し、修正しながらやっていくという実行力も必要です。

藤森氏:変革を起こせる人は、自分のコンフォートゾーンから出て行ける人。グローバル人材になるには、自分の殻を破れればいいのです。海外に出たら、そこは肩書きではなく自分の力で勝負する世界。大学名も同じ。海外では東大卒というだけでは通用しません。海外にはものすごい人達がたくさんいます。海外まで視野に入れて一段上のすごいものを目指す人が増えてきたらすばらしいと思います。

※対談の全文はこちらで読めます。
東京大学基金ホームページ
<http://utf.u-tokyo.ac.jp/interview/17.html>

藤森義明氏	1975年工学部卒業	株式会社LIXILグループ	取締役代表執行役社長兼CEO
森 浩生氏	1986年経済学部卒業	森ビル株式会社	取締役副社長執行役員



東京大学では本ページで紹介したプロジェクトのほか、東京大学基金のもとに「Go Global奨学金基金」を立ち上げ、卒業生や企業へ支援のお願いをしています。

本基金の趣旨にご賛同いただいた下記を始めとする多くの方々から多大なご寄附を頂いています。

● Victor & William Fung Foundation Limited (香港)

● フェニックス・キャピタル株式会社

アメリカ在住の卒業生が東大生をサポート “FUTI”(Friends of UTokyo, Inc.)

FUTI(Friends of UTokyo, Inc:東大友の会)は、東京大学の国際化を支援するため卒業生を中心に設立されたアメリカニューヨーク州登録の非営利慈善団体です。プリンストン大学名誉教授の小林久志理事長(昭和36年工卒)をはじめとする理事会の役員や諮問委員が寄附を呼びかけ、集まった寄附金をもとに研究助成や奨学金の支給を行っています。

奨学金では、アメリカで実施されるサマープログラムやサマーインターンシップへ参加する学生の支援をしています。2014年度は東大生13人がFUTIのグローバル・リーダーシップを受賞し、米国大学でサマーコースや語学研修コースに参加しました。

スカラシップの選考は、学業成績、エッセイ、指導教官の推薦状などに基づいて行われますが、部活動、社会奉仕など大学での正課以外でリーダーシップの実績のある東大生の応募を期待しています。(詳細はFUTIホームページのFAQsを参照)

奨学金に関しては様々な大学とのプログラムに対して支援していますので、アメリカへの留学等を考えている方は、ぜひ一度HPをご覧ください。(P37参照)

<http://www.todaitomonokai.org/>



奨学金受賞者が参加したイエール大学の英語研修クラスの様子

11. 海外インターンシップ・ボランティア

海外インターンシップとは

海外の企業、国際機関または教育機関等で、主に自身のスキルアップを目的として研修生として働くことです。

企業・国際機関・教育機関等でのインターンシップ

海外の企業や国際機関・教育機関等での実務を通じて、専門知識やビジネススキルを身につけ、実用的な英語力や国際感覚を養うことが期待されます。有給と無給のタイプがあります。

大学・研究機関等でのインターンシップ

主に理系の学生を対象にした、自身の専門分野の知識やスキルを活かすことのできる科学技術に関係するインターンシップもあります。一定の期間、海外の機関（大学・研究所・企業の研究機関等）で働きます。自身の専門性を高めるとともに、国際社会への適応力を養います。有給（滞在費支給）の場合が多いです。

〈海外インターンシップの例〉

プログラム名	実施国・地域	実施時期	募集締切	備考
IARUサステナブルキャンパス交換学生	年により異なる	8～9月頃	5～6月頃	IARU加盟大学のいずれかでサステナブルキャンパス活動に従事
香港大学Learn, Live and Intern in China (LLIC)プログラム	香港	6～8月頃	1月	2週間の授業と7週間のインターンシップ（香港または中国本土の企業）を組み合わせたプログラム
ams（オーストリアマイクロシステムズ）海外インターンシップ	オーストリア	8月頃～1年間	5月頃	高性能アナログIC技術の開発・製造分野に携わる

※他にも多数ありますので、Go Global ウェブサイトを参照してください。

※各項目は、あくまで目安として簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報はウェブサイト等で確認してください。

国際ボランティアとは

世界各国における経済・社会の発展、復興への寄与、友好親善・相互理解等を目的として現地で活動することです。

国際ボランティアの魅力

留学をする場合にかかる費用や時間、インターンシップにおいて求められる語学力や経験と比べると、国際ボランティアの場合は、より参加しやすくなっている場合もあります。自発的な意思により社会に貢献する活動を共にに行い交流することで、参加者間で文化や言葉の壁を越えて交流を深めることができます。

国際ボランティアによる渡航先の安全性

各国国際ボランティアの実施団体は実施国の安全面に配慮していますが、渡航先には発展途上国が多いということから一概に安全とは言いきれません。実施団体によるオリエンテーションや指示、東京大学の『海外渡航危機管理ガイドブック』などをよく理解し、渡航先ではいつも以上に気を配り安全に過ごせるよう気をつけましょう。外務省ホームページ“各国安全情報”や厚生労働省検疫所ホームページ“海外で健康に過ごすために”等の情報を得る必要があります。

〈国際ボランティアの例〉

プログラム名	実施国・地域	実施時期	募集締切	備考
国際教育交換協議会（CIEE）によるボランティアプログラム	プログラムによる	プログラムによる	プログラムによる	CIEEが提供するボランティアプログラムは約30カ国で800のプロジェクトと広範囲に及びます。
日本国際ワークキャンプセンター（NICE）によるボランティアプログラム	プログラムによる	プログラムによる	プログラムによる	1990年の設立以来、国内・海外94カ国でワークキャンプ等各種事業を実施しています。自分の希望に合ったプログラムを選ぶことができます。

※他にも多数ありますので、Go Global ウェブサイトを参照してください。

※各項目は、あくまで目安として簡潔に記載しています。募集開始、締切、開催内容等は毎年異なりますので最新情報はウェブサイト等で確認してください。

〈国際協力プログラムの例〉

プログラム名	実施国・地域	実施時期	募集締切	備考
JICA 短期ボランティア（青年海外協力隊）	アジア・アフリカ、中南米・大洋州、中東の約80カ国	1年未満	5月・8月・11月・2月	協力分野：計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9部門
JICAインターンシップ・プログラム（コンサルタント型）	応募時期による	受入機関によるが概ね1ヶ月程度	12月頃	JICA事業の現場における実務の機会を通じて開発コンサルタント実務及び国際協力に関する理解を深めることができるプログラム
ADB（アジア開発銀行）インターンプログラム	ADB本社（マニラ）	プログラムによるが概ね半年以内	プログラムによる	ADBでのインターンはプロジェクトベースで実施される。よって携わりたいプロジェクトを見つめるためには定期的な情報収集が必要。

インターンシップ体験談



ams（オーストリアマイクロシステムズ）海外インターンシッププログラム
氏名：志水 彰太さん
所属（参加時のもの）：工学系研究科・技術経営戦略学専攻 修士1年
渡航先国名：オーストリア
受入機関・組織名：ams AG株式会社
滞在期間：2013年10月～2014年9月

オーストリアでののどかな生活に触れる一年間

ams AGでのインターン

私はams AGというオーストリア、グラーツ市にある半導体製造メーカーが日本人学生複数人をインターンとして迎えるプログラムに参加しました。

ams AGは従業員1000人ほどの、小さくて大きな会社でした。というのは、規模は大きな会社でしたが、社員同士が密にコミュニケーションをとることができており、大きさを感じさせない環境でした。社内の公用語はドイツ語でしたが仕事上は英語で接することができ、また同年代のインターン生が多く、風通しの良い職場でした。実務経験の無い身として価値を発揮する難しさを感じながらも、競合他社のデータ分析や日本向けの広報資料の作成などを行っていました。1年間の仕事を通じて最も感じたのは、専門性を身につける必要性でした。新卒採用という文化が無い会社では、すべての仕事がポジション採用です。同じ広報部門のインターンの現地の大学生は、大学でマーケティングを専攻し、その知見を生かして社内でのプロジェ

クトを立ち上げていました。ある分野に関して、社内の中で評価されるようなアウトプットを出せるだけの専門性を身につけ、それをこなすことで実力をつけることが求められることを、初めて知りました。いかにアウトプットを出して行くか、という意識を持てるようになったことは成長でした。

ヨーロッパの中心にあって

また、この1年間でヨーロッパ17カ国を旅行できたのは非常に大きな経験でした。オーストリアは文字通りヨーロッパの中心に位置しているため、スイスやドイツ、イタリアなどは陸路で訪れることができます。制度上、年間25日の有給休暇の消化が義務づけられているため、休日とうまく組み合わせつつ、夜行列車やLCC、レンタカーで旅行していました。留学とはまた少し違う、現地の生活に入り込み、ゆったりした時間の流れ方や、働き方の中で過ごした、すごく特別な1年だったと思います。

ボランティア体験談



JICA短期ボランティア
氏名：林 佐和美さん
所属（参加時のもの）：教養学部・教養学科地域文化研究分科アジア・日本コース 3年
渡航先国名：ガーナ
受入機関・組織名：JICA
滞在期間：2014年3月（1ヶ月間）

自分の道を決めるきっかけをくれた1か月間

ガーナで日本語教師？

私はガーナの小中学校で日本語教師として活動をさせて頂きました。当初はガーナで日本語教師の需要が果たしてあるのかと疑問に思っていましたが、いざ行ってみると配属先の学校は日本の皇族の方が以前訪問なさっていたり日本語が義務教育化されていたりして、日本との結びつきが強い学校で非常に驚きました。言語も文化も違う子ども達に教えるのは予想以上に難しく、へとへとになりながら学校から帰っていたときもありましたが、一緒にボランティアに参加した相棒や現地に派遣されている青年海外協力隊の方、現地の学校の先生方、生徒達に助けられながら、楽しくやりきることが出来ました。休みの日は近くの子供達と遊んで、日本食パーティーも開催しました。中でも特に仲良くなったご家庭とは、最後は互いに号泣してお別れしました。

人生を考えるきっかけになった多くの出会い

今回参加を決めた最大の目的は、以前から興味のあった途上国の開発というフィールドで、自分が将来本当に働きたいと思えるのを見極めることでした。自分にとってはるか遠くの別世界だったアフリカで、実際に働かれている素敵な日本人の方々やたくさんの優しいガーナ人の方々に会って、日本との生活の物質的豊かさの違いを目の当たりにして、もっと開発と貧困について知りたい、という思いが強くなりました。中でも、JICAの現地事務所の所長さんが最後に問いかけて下さった、開発って何だと思いませんか、この国のために私達が出来ることって何だと思いませんか、という質問が、深く心に残り、今でもずっとその答えを考えています。楽しいことばかりでは決してなかった一か月でしたが、素晴らしい出会いに溢れた、本当にかげがえのない時間でした。心から参加をお勧めします。

主な海外インターンシップ・ボランティア実施団体

イアエステ (IAESTE)

イアエステは、理系の幅広い分野において質の高い国際インターンシップを実施する世界最大の国際プログラムであり、またそれを行う団体です。国連やユネスコなどと協調して事業を進め、世界100カ国に近くの数多くの大学、政府組織、非政府組織、学生ボランティアが活動を支え、1948年の設立以来、総計35万人以上の学生を送り出してきました。その日本国内組織であるイアエステ・ジャパンは、1964年に東京大学で設立されました。

派遣学生は、海外の研究機関の一員として勤務・交流し、国際社会への適応能力を養い、自分の将来ビジョンを明確化します。派遣先はヨーロッパの国々を中心に、アジア、アメリカなど世界各国で、滞在費相当の給与が支払われます。研修期間も多様で8～52週間の幅があり、夏季休暇を利用し休学することなく参加が可能です。あなたも、いま学んでいる(これから学ぶ)専門の力を海外で展開して、世界の人々との交流に挑戦してみませんか。

www.iaeste.t.u-tokyo.ac.jp



国際協力機構 (JICA)

国際協力機構 (JICA) では、青年海外協力隊などのボランティア事業を実施しています。青年海外協力隊は、途上国の住民と直接交流しながら、その国が抱える課題に取り組み、経済や社会の発展に貢献することを目的としています。募集は春と秋の年2回行われ、派遣国はアフリカ・アジア・中南米、中東地域の約80か国で、活動職種も120以上と多岐にわたります。応募対象者は20～39歳の日本国籍を持つ方です。JICAでは、協力隊員が円滑に活動を行うために、現地事務所にサポートスタッフを配置しているほか、健康面・安全面での支援体制を整えています。また、派遣国との往復渡航費、現地生活費等の経費を負担しています。

開発途上国での活動のなかで度重なる困難や逆境を乗り越えた協力隊員は、その経験を通じて逞しい精神力・忍耐力、コミュニケーション能力を培い、グローバルな視野だけでなく、人間的にも大きく成長して帰国します。近年は、企業や自治体等が協力隊経験者をグローバル人材として高く評価し、積極的に採用する事例が増えています。

www.jica.go.jp



国際教育交換協議会 (CIEE) 日本代表部

国際教育交換協議会 (CIEE) は、約40か国に駐在員を擁し、30か国50団体と提携し、年間約4万5千人規模で事業を展開しています。新しい時代のニーズに対応した海外でのボランティアやインターンシップの企画・運営を行う他、日本国政府より委託された派遣研修など、活動は多岐にわたります。

CIEEが取り扱う海外ボランティアは「国際ボランティア・プロジェクト」(世界中から集まったボランティアと共に活動)を中心として、ホームステイをしながらの地域密着型の活動や、教育体験、環境保護、社会福祉などインターンシップの要素も含まれるプログラムも実施しています。また、TOEFL®テスト日本事務局として英語力向上の支援をするとともに、様々な国際交流プログラムを提供しています。CIEE東京事務所(最寄駅:表参道又は渋谷)では、海外ボランティア説明会を、ほぼ通年で毎週実施しております。興味がある方は、是非、説明会にも足をお運びください。

www.cieej.or.jp



日本国際ワークキャンプセンター (NICE)

NICEは、「カラフルでヘルシーな世の中」を目指して日本・世界約100ヶ国で各種ワークキャンプを主催・派遣する国際ボランティアNGOです。ワークキャンプとは、その地域の抱える固有の問題を解決するため、世界中から集まった仲間と1～3週間寝食を共にしながら、メンバーや地域の人たちと共に行うボランティア活動です。2014年は1335人の日本人ボランティアが海外・日本各地で活躍しました。カンボジアの学校での子どもへの英語教育、フィリピンでのマングローブの植林、また国内では熊本でエコハウス竹ゲートの改修、竹炭作りプログラムなど、年間約3000のプログラムが用意されています。

「こんなにエキサイティングな経験は初めてで、この経験を終えてすごく自信がついた」「現状を目の当たりにし、今後自分ができること、しなければいけないことを考えていきたい」といった声が参加者から届いています。必要なのは、やる気と行動力、そしてカタコト以上の英語力のみです! 国籍の違う仲間とともに生活し、笑い、語り合うからこそ得られる成長が待っています。

www.nice1.gr.jp



12. 体験活動プログラム

平成24年度から東京大学では、「よりタフに、よりグローバルに」次世代を担っていく学生を育成するという教育目標を達成する方策のひとつとして、国内外を問わず実社会での多様な体験(ボランティア、インターンシップ、地域体験、フィールドワークなど)を得る、体験活動プログラムを提供しています。学部前期及び後期課程の学生が正課以外の場で、さまざまな体験をするサポートをします。

海外で実施する国際交流体験活動プログラムの多くは、夏季休暇期間を中心に1週間～1ヶ月程度活動するものです。自由な時間を利用して、積極的に参加してください。

平成27年度も国内、海外を問わず体験活動プログラムを実施します。ウェブサイト等で最新情報を確認してください。

URL: http://www.u-tokyo.ac.jp/stu01/h19_j.html もしくは、「東京大学 体験活動」で検索

国際交流 体験活動プログラム一覧(平成26年度版)

プログラム名(通称)	内容	開催地	時期	期間
世界の情報発信の中心地ニューヨークの脈動を感じよう	卒業生との交流	アメリカ(ニューヨーク)	8月	6日
アメリカ中西部で事業をすることの素晴らしさとチャレンジ	卒業生との交流	アメリカ(シカゴ)	8月	5日
オーガニック農場でのSustainable agriculture体験	農場体験	アメリカ(プリンストン)	8-9月	15日
ロサンゼルスの日系人/日本人のドキュメンタリー・フィルムを制作する	映画製作	アメリカ(ロサンゼルス)	9月	10日
ボストンベンチャー企業インターンシップ	インターンシップ	アメリカ(ボストン)	9月	10日
ハーバード大学医学部研究室の訪問・見学	医学系研究室訪問	アメリカ(ボストン)	8月	7日
グランセコールでの研修、およびパリで働く卒業生から学ぶ	現地学生との交流	フランス(パレンゾー他)	9月	10日
女子学生のためのフランスの文化・ビジネス研修	卒業生との交流	フランス(パリ他)	8-9月	1ヶ月
国際インターンシップ/ams	インターンシップ	オーストラリア(グラーツ)	8-9月	2ヶ月
IUP: Veneto Experience	ワークショップ	イタリア(ヴェネチア)	8月	18日
手作りオクスフォードサマープログラム	サマープログラム	イギリス(ロンドン)	8月	1ヶ月
イギリスの中の「日本」体験	美術館訪問	イギリス(ロンドン他)	9月	7日
ネパールスタディーツアー	ボランティア	ネパール(ジャンジャ他)	9月	20日
新興国インドでのマーケティングリサーチ	インターンシップ	インド(ニューデリー)	8月	7日
インド・バンガロールで卒業生と一緒に国際体験	インド国際体験	インド(バンガロール他)	8月	8日
インド・ニューデリーで卒業生と一緒に国際体験	インド国際体験	インド(ニューデリー他)	9月	14日
医学と平和	医療施設訪問	カンボジア(プノンベン)	8月	7日
ペトロナス工科大学サマープログラム	サマープログラム	マレーシア(ペラ)	9月	15日
起業するならシンガポールでしょう	卒業生との交流	シンガポール	8月	7日
上海および上海近郊の地方都市を中心とした国際交流体験活動	卒業生との交流	中国(上海)	9月	9日
東大生訪中団 ～中国のトップ大学・現地企業等の訪問及び交流～	卒業生との交流	中国(北京)	9月	10日
日本語教室でのボランティア	日本語指導	日本(本郷キャンパス)	10-12月	3ヶ月
Documentary research for the French Embassy	インターンシップ	日本(東京都)	9-12月	4ヶ月

※上記プログラムは平成26年度のもので、平成27年度は実施しないプログラムや上記に記載のないプログラムもありますので、必ず学内説明会、及びウェブサイトで最新情報を確認してください。各項目はあくまで目安とし、簡潔に掲載しています。

※体験活動プログラムは国際交流体験だけではなく、ボランティア、インターンシップ、農林水産業・自然体験、地域体験、フィールドワーク、研究室体験など、様々な活動を含みます。上記表は国際交流体験のみの抜粋です。



体験活動プログラム参加者の声

私はアメリカのオーガニック農場で2週間農業体験をしました。平日の午前中は室外労働で、野菜の収穫や草むしり、乳搾りなど、様々な体験ができました。自由時間を使って、皆で各国の料理を作って食べたり、プリンストン大学などを見学したり、充実した楽しい時間を過ごしました。初めての農業体験で、「食べ物の大切さ」について改めて考えさせられました。農場でホームステイをして、アジア人の勤務観とアメリカ的な労働契約観の違いや、お互いの文化の興味深い点に気づくことができ、国際交流としても大変貴重な体験をさせていただきました。



(オーガニック農場での Sustainable agriculture体験 教養学部前期課程2年 チョウ・イビョウさん ※写真右から4番目)

13. 安全と危機管理

海外では、不慣れな場所で、どこにどのような危険があるのかが十分に把握できないこともあるため、交通事故・窃盗・強盗・詐欺など、様々な被害に遭う可能性が高くなります。危険を感じる状況等をできるだけ避け、常に危険等を予測してから行動するよう心がけてください。

学生が海外渡航する機会が増えている現状、また、今後も増えることが予想されることを受け、東京大学の学生及び教職員のための『海外渡航危機管理ガイドブック』を作成しています。海外に渡航する学生は必ず本ガイドブックを熟読し、海外でのリスクについて事前に知り、十分に準備するようにしてください。
「海外渡航危機管理ガイドブック」
<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/index.html>

保険への加入

海外渡航中の保険については、必ず出発前に出発から帰国まで期間をカバーする海外旅行保険・留学保険等に加入してください。プログラムによっては、公益財団法人日本国際教育支援協会（JEES）の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に加入することが参加の条件となります。（国際本部担当のプログラムについてはこれに該当します）
また、留学先大学等に指定する保険に加入することを求められた場合は、併せて保険に加入してください。
※日本の海外旅行保険・留学保険等は出国後には加入できないため注意すること。

所属部局での届け出

留学等により海外渡航する際には、渡航目的により「留学許可願」、「海外渡航届」、「休学願」等の提出が必要になります。所属学部・研究科等の担当部署に確認し、必要な手続きを行ってください。

健康管理と安全管理に関する事前準備

『海外渡航危機管理ガイドブック』を参考に、海外において安全、快適に研究・学習等を行っていくうえで欠かせない「健康管理」と「安全管理」の両面から、渡航前の危機回避対策を必ず行ってください。（健康診断、歯科検診、常備薬の準備、予防（ワクチン）接種、渡航先国に関する情報の事前収集、緊急対応リストの携行など）
なお、東京大学の保健センターでは、渡航前医療相談を実施しています。
<http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/travel/>

日本大使館・領事館への「在留届」の提出

海外に3ヶ月以上滞在する場合は、必ず、最寄りの日本大使館・領事館に「在留届」を提出してください。（旅券法16条により義務付けられています。インターネットによる提出も可能です。）

万一、海外で事件・事故や思わぬ災害に巻き込まれた場合、日本国大使館や総領事館はこの「在留届」をもとに日本人の所在地や緊急連絡先を確認して援護します。※転居・帰国の際にも必ず届け出ること。
外務省ホームページ
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/todoke/zairyu/>

海外渡航中の報告・連絡・相談

海外渡航中、何か問題が生じた場合や相談事があるような場合、また緊急事態等が発生した場合は、速やかにプログラムの担当者や東京大学の担当者に報告・連絡・相談してください。
また、現地で天災、新型インフルエンザ等の感染症、テロ等が発生した場合は、たとえ自分には何も被害がなくても、安否について速やかに東京大学の担当者に連絡してください。なお、家族にも定期的に連絡を取るようにしてください。

その他

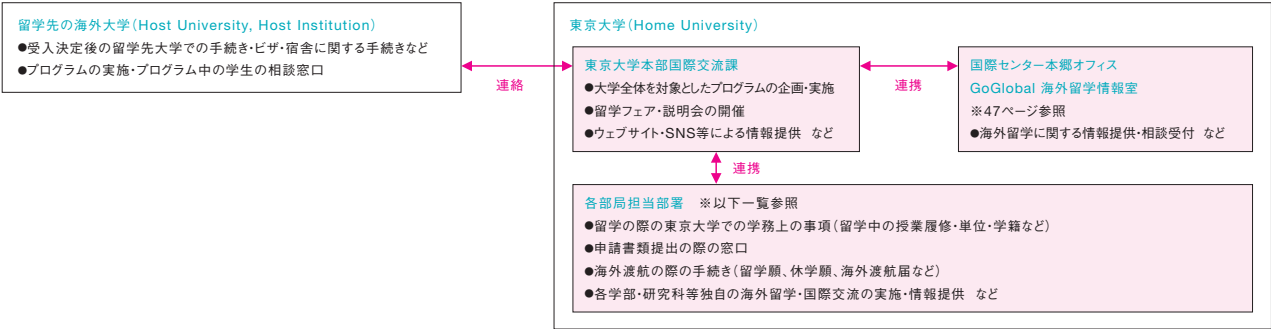
海外でも東京大学の学生であることを常に自覚し、行動や振舞いには十分気をつけましょう。
その他、プログラムの担当者、本学所属学部・研究科、指導教員等の指示に従い、安全と危機管理に十分注意してください。



14. 東京大学の留学・国際交流関係部署

東京大学の留学や国際交流に関する部署の体制はだまかに以下のようになっています。内容に応じて、担当部署に報告・連絡・相談などを行ってください。

本部担当留学プログラムの場合の例



各局担当部署一覧（海外留学・国際交流に関すること）

部局名	海外留学・国際交流に関する情報入手先	担当部署
法学部 法学政治学研究科	学部: http://www.j.u-tokyo.ac.jp/kyomu/contents/ryugaku.html 法学部掲示板 大学院(総合法政専攻): http://www.j.u-tokyo.ac.jp/in/shs/contents/jugyo.html 大学院(法曹養成専攻): http://www.j.u-tokyo.ac.jp/in/hys/contents/jugyo.html	学部:教務係、留学生担当 大学院:大学院係、留学生担当
医学部 医学系研究科	募集関係の情報: 医学部掲示板・医学系研究科掲示板 学部・研究科の留学等情報: http://koryu.m.u-tokyo.ac.jp/homepage00.html	学部:教務係、国際交流室 大学院:大学院係、国際交流室
工学部 工学系研究科	募集関係の情報: 学生・院生用情報ポータルサイト(学生専用・非公開) ※ポータルサイトURLは学部・大学院チームへお問い合わせください。 学部・研究科の交換留学等情報: http://www.oice.t.u-tokyo.ac.jp/index.html	国際交流チーム
文学部 人文社会系研究科	http://www.l.u-tokyo.ac.jp/student.html	学部:教務係(教務関係相談) 大学院係(手続き等に関すること) 大学院:大学院係
理学部 理学系研究科	募集関係の情報: 理学部掲示板 学部の留学等情報: http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/current/ 研究科独自の留学等情報: http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/current/graduate.html	教務チーム学部担当(手続き等に関すること) 教務チーム大学院担当(手続き等に関すること) 国際化推進室(留学相談)
農学部 農学生命科学研究科	http://www.a.u-tokyo.ac.jp/cstudents/index.html	学生支援チーム(学部学生担当、大学院学生担当、学生生活担当)
経済学部 経済学研究科	http://www.gaia.e.u-tokyo.ac.jp/is/index-j.html	学部:教務係、留学生・国際交流担当チーム 大学院:大学院係、留学生・国際交流担当チーム
教養学部 総合文化研究科	【学部・研究科共通】 http://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp 国際交流支援係の掲示板 国際センター駒場オフィスの掲示板 【前期課程】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/index.html PEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/zenki/peak/ 【後期課程】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/fas/index.html PEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/fas/ 【総合文化研究科】 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html GPEAK生向け: http://www.c.u-tokyo.ac.jp/eng_site/graduate/	【学部・研究科共通】 国際センター駒場オフィス、グローバルセッションオフィス、国際交流支援係 【前期課程】 前期課程係(教務関係相談)、国際化推進係(PEAK教務関係相談) 【後期課程】 後期課程係(教務関係相談)、国際化推進係(PEAK教務関係相談)、国際研究協力室 【総合文化研究科】 総合文化大学院係(教務関係相談)、国際化推進係(GPEAK教務関係相談)、国際研究協力室
教育学部 教育学研究科	教育学部学生支援チームホームページ(学生専用・非公開)	学生支援チーム学部担当・大学院担当(教務に関する相談)、学生支援チーム国際交流担当・国際交流室(留学全般に関する相談)
薬学部 薬学系研究科	薬学部掲示板・薬学系研究科掲示板 学部・研究科の留学等情報: http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~israr/ja/isar/study_abroad.html	国際交流室(留学全般に関する相談) 教務チーム(学務関係の相談)
数理学部 数理学研究科	http://www.ms.u-tokyo.ac.jp/kyoumu_e/liaison_e.html	数理学部教務係
新領域創成科学研究科	http://www.ilo.k.u-tokyo.ac.jp/index.php	教務係(単位認定・学籍等の学務関係) 国際交流室(部局間協定に基づく学生交流)
情報理工学系研究科	留学に関すること全般: http://www.i.u-tokyo.ac.jp/edu/inter_ex/oir/index.shtml 募集や奨学金等の情報: http://info.t.u-tokyo.ac.jp/k_suisin1/oice/haken.html	国際交流室
学際情報学府	学際情報学府ポータルサイト(学府学生専用)	学務係、留学生支援室
公共政策学教育部	募集関係の情報: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/students/board/index.htm 公共政策学教育部独自の留学等情報: http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/international/fe_program.htm	公共政策大学院係(全学学生交流に関する事項) 国際交流担当(部局間協定に基づく学生交流)

15. よくある質問

Q. 留学を希望する場合、いつ頃から準備を始めればよいですか？

【全学交換留学の場合】全学交換留学の場合、およそ留学の1年前に募集が行われますので、その時期に応募ができるよう、早めに語学学習や語学能力試験の受験をすすめておきましょう。10ページ(「全学交換留学募集サイクル」)、28ページ(「留学の計画と準備」)も参照してください。

【短期留学の場合】東京大学の国際本部が担当する夏季短期留学の場合、その年の1月～2月に募集が行われるプログラムが最も多いので、その時期に応募ができるよう、早めに語学学習や語学能力試験の受験をすすめておきましょう。18ページ(「3ヶ月未満の留学」)も参照してください。2015年からは国際本部が担当する冬季の短期プログラムの募集も開始する予定です。個人で応募するプログラムも、早いものでは2月～3月に募集が締め切られるものもありますが、中には6月頃まで申し込み可能なものもあります。22ページ(「その他の留学(個人応募での留学など)」)も参照してください。

Q. 前期課程の学生も全学交換留学に参加できますか？

できます。但し、前期課程の科目の履修計画に関する留意点や、外国の大学で取得した単位の扱いについては必ず教務課前期課程係(PEAK生は国際化推進係)で事前に説明を受けるようにしてください。

Q. 1学期～1年の間留学しても4年間で学部を卒業できますか？

交換留学の場合、期間や時期、単位取得や単位認定の状況によっては、4年で卒業が可能な場合もあります。所属学部を確認の上、計画的に授業履修や留学の準備を行ってください。ただし、単位の取扱いは学部ごとに異なりますので、必ず交換留学の計画段階で所属学部を確認してください。28～31ページ(「留学の計画と準備」[「留学等における学籍・単位認定など」])も参照してください。

Q. 留学に行く場合、費用はどのくらいかかりますか？

【交換留学の場合】日本で生活するのとあまり変わらない程度の費用で留学することができます。渡航費や生活費などは必要ですが、東京大学に授業料を納めていれば、留学先での授業料は不要となるためです。交換留学の場合、協定校の寮が利用できる場合が多く、奨学金制度も充実していますので、安い費用で留学することも可能です。32ページ(「留学にかかる費用」)も参照してください。【3ヶ月未満のプログラムの場合】費用は、プログラムによって大きく異なります。ほぼ無料で参加できるものから、数十万円のプログラムまで様々ですので、よく調べ、予算に応じて参加プログラムを検討してください。18ページ(「3ヶ月未満の留学」)、22ページ(「その他の留学(個人応募での留学など)」)も参照してください。

Q. 全学交換留学の協定校は、今後増えますか？

全学交換留学(国際本部担当)で応募可能な協定校は、年々増加しており、今後も増やせるよう交渉を行っています。5ページの全学交換留学制度のグラフも参照してください。

Q. 全学交換留学の学内選考はどのように行われるのでしょうか？

全学交換留学(国際本部担当)の派遣候補者は、各部局からの推薦を経た上で、東京大学本部にて第一次選考(書類審査)、最終選考(面接審査)を行い選考しています。最終選考は、第一次選考を通過した学生のみを対象とします。(2014年度現在)

Q. 各プログラムの応募の倍率はどのくらいですか？

Go Globalウェブサイトの「留学の基礎知識」→「統計資料」のページで、応募状況を公開していますので、そちらで確認できます。人気が集申し倍率が高くなる留学先もありますので、併願ができる場合は複数の留学先に併願することをおすすめします。

Q. 現在申し込もうと考えているプログラムの詳細や、過去の参加者の経験を知りたいのですが。

まずは留学先大学が作成しているプログラムのウェブサイトをよく読んでみてください。また、国際本部が担当するプログラムでは、Go Globalウェブサイトの「留学プログラム」→「留学体験記」のページに、過去の参加者による詳細な報告書を掲載していますので、そちらも確認しましょう。また、学内選考を通過した場合は、派遣前のオリエンテーションで過去の参加者と情報交換できる機会があります。

Q. Go Globalのウェブサイトには締切日や提出先が記載されていない場合がありますが、どこで確認できますか？

東京大学では、多くのプログラムで、自分の所属している学部・研究科等(東京大学では、学部・研究科等のことを“部局”と呼びます)に応募書類を提出することになります。締切日や提出先は各部局ごとに異なりますので、Go Globalのウェブサイトには記載していません。各部局の担当部署(45ページ参照)のウェブサイトや掲示板で確認するようにしてください。

Q. 英語に自信がなくても参加できる留学プログラムはありますか？

語学を学ぶプログラムもありますので、Go Globalウェブサイトなどでよく調べてみてください。一口に留学といっても、プログラムごとに目的や内容・レベルは様々ですので、自分のイメージだけで判断せず、事前にプログラムをよく調べて、自分に適したプログラムに参加するようにしましょう。

Q. 短期留学プログラムなどに参加したいのですが、東大の授業やテスト期間と時期が重なっている場合はどうなりますか？

海外の大学は6月～7月が夏休みのところが多いため、その時期に開催されるプログラムも多くなっています。自分の授業・試験日程などを応募前に十分確認し、参加が可能なプログラムに応募してください。留学のために東大の授業や試験に出席できない場合の扱いについては、留学時に所属する学部や研究科等の判断によるところとなります。留学プログラム等への参加に際して、特別な配慮が行われるとは限りませんので、学部や研究科等の窓口で事前に十分確認し、納得したうえで参加申請を行ってください。

Q. 留学について相談したいのですが、どこで相談に乗ってもらえますか？

現在募集中のプログラムに関する具体的なことについては、所属している学部・研究科の担当部署や、募集要項に記載されている問い合わせ先に確認するようにしましょう。その他、留学に関する全体的な質問・一般的な質問・相談などは本郷キャンパスの海外留学情報室(45ページ参照)で受け付けています。

また、特定の学問分野の留学事情などについては、所属している学部・研究科の担当部署や、指導教員、先輩などに相談してみるのもよいでしょう。

16. 留学・国際交流に関する情報収集

有意義な留学・国際交流のためには、情報収集が大変重要です。留学の成否は情報収集が左右すると言っても過言ではありません。以下のような様々なツールを活用して、主体的に情報を集めましょう。

各学部・研究科の情報

留学の際の東京大学での学務上の事項(留学中の授業履修・単位・学籍など)、各学部・研究科等独自の海外留学・国際交流については、各部局の担当部署(45ページ参照)で情報が得られます。

東京大学全体の情報

●**東京大学 Go Global海外留学・国際交流情報**

①**ウェブサイト(通称Go Globalウェブサイト)**

本ガイドブックよりさらに詳細な情報や最新の情報が掲載されています。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/>

(「東大」[「留学」で検索])



②**Facebook, Twitter**

本部国際交流課からの直接の発信で、留学プログラムや奨学金関連の新着情報を掲載しています。募集期間が短いものもありますので、Facebook・Twitterをフォローすれば、有益な情報を迅速に得ることができます。

Facebook <http://www.facebook.com/todai.go.global>

Twitter [@todai_global](http://twitter.com/todai_global)

(Go Globalウェブサイトのアイコンをクリック)



③**Facebookグループ「Todai Go Global Network」**

東京大学の在学生・教職員・卒業生が海外留学・国際交流に関

する情報を交換できるFacebookの非公開グループ「Todai Go Global Network」があります。積極的にご活用ください。

※参加にあたっては本学関係者であることの認証手続きが必要です。参加方法はウェブサイトをご参照ください。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/index.html>

(Go Globalウェブサイト→「質問・相談」ページ)

④**過去参加学生による体験記**

Go Globalウェブサイトには学生による詳細な体験記が掲載されています。経験者の生の声も参考にしましょう。

(Go Globalウェブサイト→「留学プログラム」のページ)

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/experience.html>

(Go Globalウェブサイト→「海外インターンシップ・国際ボランティア」のページ)

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/internship/experience.html>

●**Go Global海外留学情報室**

東京大学国際センター本郷オフィスでは、「Go Global海外留学情報室」を開設し、海外留学に関する情報提供・相談などを行っています。開室時間・月～金 10:00-17:30(祝日を除く。臨時閉室日についてはウェブサイトを確認してください)

場所:本郷キャンパス第二本部棟1階 インフォメーションサービス

ルーム(龍岡門そば)

<http://www.ic.u-tokyo.ac.jp/ic/students/goabroad.htm>

●**留学・国際交流関連イベント**

東京大学本部では、年に1回の大規模な留学フェアに加え、年に数回、比較的小規模な留学・国際インターンシップ・海外ボランティア等の説明会を開催しています。担当者や経験者の話を直接聞くことができます。

また、海外大学や各国大使館などが主催する留学関連イベントも多数開催されていますので、目的に応じて参加してみてください。

留学・国際交流関連イベントの情報もGo GlobalウェブサイトやFacebook, Twitterなどで紹介しています。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/event/>

(Go Globalウェブサイト→「イベント」ページ)

留学先大学の情報

留学先大学のウェブサイトを利用し、必要な語学条件や履修可能な授業、費用などについて、自らの責任でしっかり確認することが大切です。

その他

日本学生支援機構のウェブサイトでも、海外留学に関する体系的な情報が得られます。また、各国大使館のウェブサイトも貴重な情報源です。

独立行政法人日本学生支援機構 海外留学情報ページ

<http://ryugaku.jasso.go.jp>

∞ Possibilities lie ahead of you.

一步踏み出したその先に、可能性は無限にひろがっています

〔編集・発行〕2015年4月1日／東京大学本部国際交流課

〔E-mail〕studyabroadfair@ml.adm.u-tokyo.ac.jp 〔Web〕<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/>

〔Facebook〕<http://www.facebook.com/todai.go.global> 〔Twitter〕http://twitter.com/todai_global